

# ADWAYS

PRESENTATION MATERIAL  
FEBRUARY 2022  
FEBRUARY 10, 2022

# FY 2021

# FULL YEAR

2022年2月10日 株式会社アドウェイズ  
2021年12月期 決算説明会 取締役会長 岡村 陽久

東証第一部：2489



# 目次

1. 通期業績 ...P.6
2. 第3四半期の業績 ...P.19
3. 株主還元 ...P.28
4. 業績予想 ...P.30
5. 事業概況 ...P.33
6. 補足資料 ...P.54

# 決算期（事業年度の末日）の変更

（2021年4月22日開示）

「2021年12月期」は国内会社は9ヶ月間、海外子会社は12ヶ月間となります。（海外子会社については以前から12月決算のため）

	2021年				2022年
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
国内会社 (以前は3月決算)	-	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第1四半期
海外子会社 (以前から12月決算)	第1四半期	第2四半期	第3四半期		第1四半期

2022年12月期からは国内会社、海外子会社ともに2022年1月1日から2022年12月31日までの12ヶ月間となります。

# 本資料における記載方法について

- 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- 2021年12月期と2021年3月期以前を比較するため、2021年3月期「国内会社9ヶ月間」、2021年12月期「国内会社12ヶ月間」、2021年3月期第3四半期「海外子会社6ヶ月間」、2021年12月期の「取扱高（四半期及び累計期間を含む）」、2021年3月期の「売上高（四半期及び累計期間を含む）」を参考値として記載しておりますが、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- 2021年3月期「国内会社9ヶ月間」とは2021年3月期第3四半期の累計に2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値、2021年12月期「国内会社12ヶ月間」とは2021年12月期の累計に2021年3月期第4四半期(会計期間)の国内会社を加えた数値、2021年3月期第3四半期「海外子会社6ヶ月間」とは2021年3月期第3四半期(会計期間)に2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です（詳細は次ページをご確認ください）。
- 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率（親会社株主に帰属する純利益率）、売上原価率、掲載料率は上記取扱高に対する比率を記載しております。

# 本資料における記載方法について

本資料での各会計期間（参考値を含む）と、会計期間の比較は以下となります。

会計期間	会計監査人による監査の有無	国内会社・海外子会社	2020年				2021年				
			1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
2021年12月期 (当期)	有 (取扱高を除く)	国内会社 (9ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	同期間 比較
		海外子会社 (12ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期		
2021年3月期 (前期) 「国内会社9ヶ月間」	無 (参考値)	国内会社 (9ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	同期間 比較
		海外子会社 (12ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期		
2021年12月期 (当期) 「国内会社12ヶ月間」	無 (参考値)	国内会社 (12ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	同期間 比較
		海外子会社 (12ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期		
2021年3月期 (前期)	有 (売上高を除く)	国内会社 (12ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	同期間 比較
		海外子会社 (12ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期		
2021年12月期 (当期) 第3四半期	有 (取扱高を除く)	国内会社 (3ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	同期間 比較
		海外子会社 (6ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期		
2021年3月期 (前期) 第3四半期 「海外子会社6ヶ月間」	無 (参考値)	国内会社 (3ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	同期間 比較
		海外子会社 (6ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期		

※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は2021年12月期に国内会社の2021年1月～3月を加えています。

Chapter1 : Full Year FY2021 results

1.

通期  
業績

# 2021年12月期業績予想と実績

[ 単位：百万円 ]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
業績予想※1	41,236	9,000	1,200	1,560	950
実績	42,930	9,697	1,298	1,699	1,029
達成率※2	104.1%	107.8%	108.2%	109.0%	108.3%

※1「業績予想」とは2021年11月1日付け「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表した数値。

※2小数点第2位を四捨五入。

売上高

国内のマンガアプリ、博報堂D Yグループとの協業案件及び台湾のアプリ広告等が伸長した事で、国内広告事業、海外事業での売上高が業績予想を超える結果となる。

営業利益

売上高、売上総利益が大幅に伸長した事に加えて、一部で計画ほどの投資が進まなかった事もあり営業利益が増加。

経常利益・親会社株主に  
帰属する当期純利益

営業利益の増加に伴い増加。

※ここでの投資とは、過去とは異なる経費利用（新規投資）を指します。

# 人・事業・機械への投資

2021年12月期 投資予定額：約4.1億円

事業年度	投資予定額	業績予想の営業利益 (2021年11月1日開示)	投資前営業利益(計画)
2021年12月期 (9ヶ月間)	約4.1億円	12億円	約16.1億円



人への投資  
(人員強化)



事業への投資  
(事業拡大)



機械への投資  
(業務効率化)

2021年12月期 実際の投資額：約3.7億円

事業年度	実際の投資額	営業利益	投資前営業利益
2021年12月期 (9ヶ月間)	約3.7億円	約13億円	約16.7億円

一部で計画ほどの投資が進まなかった事に加えて、  
取扱高、売上総利益が大幅に伸長したため、営業利益が大きく増加する結果。

※ここでの投資とは、過去とは異なる経費利用（新規投資）を指します。  
※投資前営業利益とは、投資を行わなかった場合の営業利益を指します。



# 当期業績と前期比較

[ 単位：百万円 ]

	2021年12月期 実績	前期比 2021年3月期 (国内会社9ヶ月間) 参考値		
		参考値	参考増減額	参考増減率
取扱高	42,930	35,895	+7,034	+19.6%
売上高	9,697	7,896	+1,800	+22.8%
売上総利益	7,958	6,647	+1,311	+19.7%
販管費	6,659	5,518	+1,141	+20.7%
営業利益	1,298	1,128	+169	+15.1%
経常利益	1,699	1,337	+361	+27.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,029	904	+124	+13.7%

**取扱高** 前期(国内会社  
9ヶ月間)比 **70億34百万円の増加 (19.6%増)**

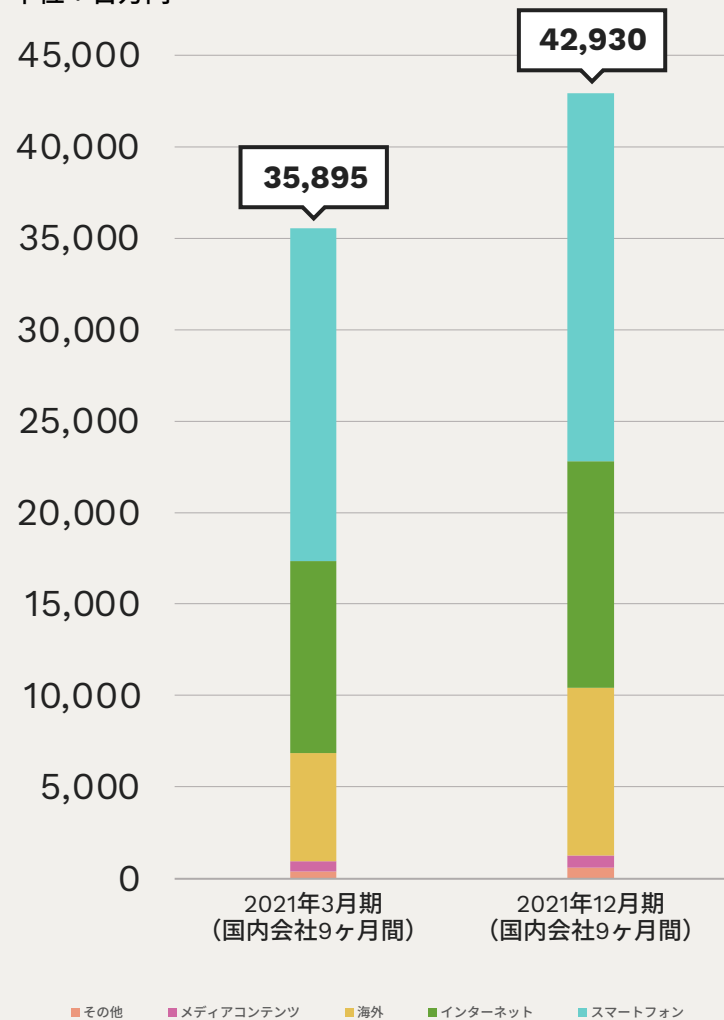
**営業利益** 前期(国内会社  
9ヶ月間)比 **1億69百万円の増加 (15.1%増)**

※2021年3月期「国内会社9ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期の累計に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

# 取扱高の前期比較

前期(国内会社9ヶ月間)  
との比較

単位：百万円



## 国内広告業・・・325億3百万円

前期(国内会社9ヶ月間)比：38億24百万円増（13.3%増）

## スマートフォン・・・200億9百万円

(主にアプリ広告)

前期(国内会社9ヶ月間)比：18億35百万円増（10.1%増）

UNICORNの取扱高が大幅に増加した事に加え、マンガアプリ、博報堂DYグループとの協業案件などが伸長した事により増加。ゲームアプリについてはほぼ横ばい。

## インターネット・・・124億94百万円

(PCWeb広告及びスマートフォンWeb広告)

前期(国内会社9ヶ月間)比：19億89百万円増（18.9%増）

ECについては微減となるも、一部のクレジットカードや消費者金融などの金融クライアントの取扱高が大幅に増加した事で増加。

## 海外事業・・・91億49百万円

前期比：32億32百万円増（54.6%増）

中国クライアントの国外展開強化に伴うグローバル広告配信により広告費が増加。台湾ではアプリ広告が好調に推移。

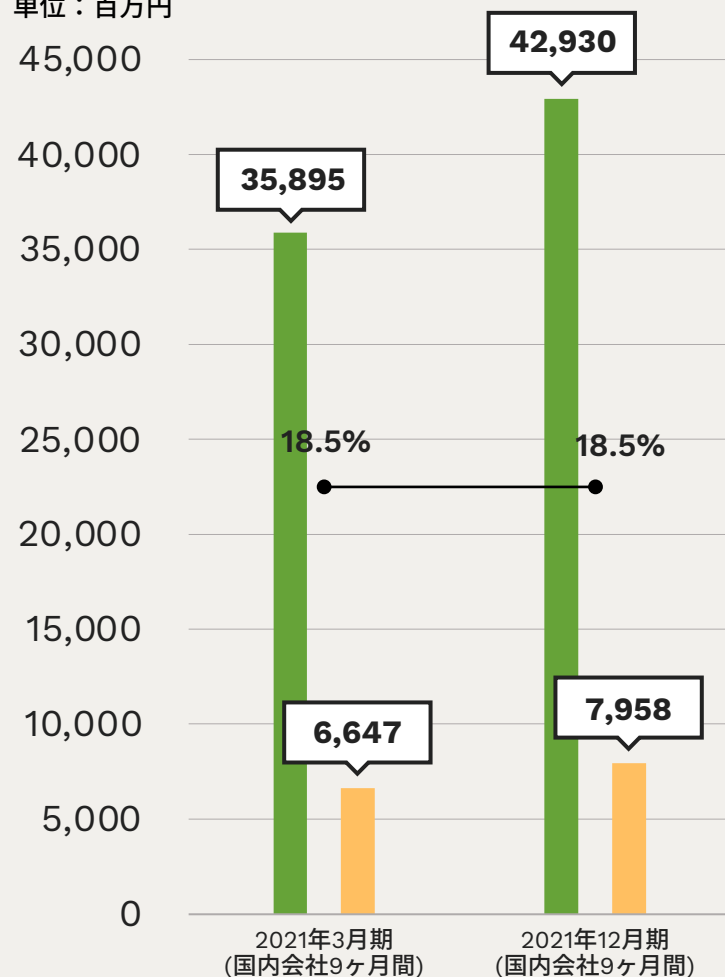
※2021年3月期「国内会社9ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期の累計に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

※国内広告業は2021年4月～12月と2020年4月～12月を、海外事業は2021年1月～12月と2020年1月～12月を比較しています。

# 売上総利益の前期比較

前期(国内会社9ヶ月間)  
との比較

単位：百万円



**当期売上総利益 79億58百万円**

前期(国内会社9ヶ月間)比：13億11百万円増 (19.7%増)

売上総利益率：18.5% (-)

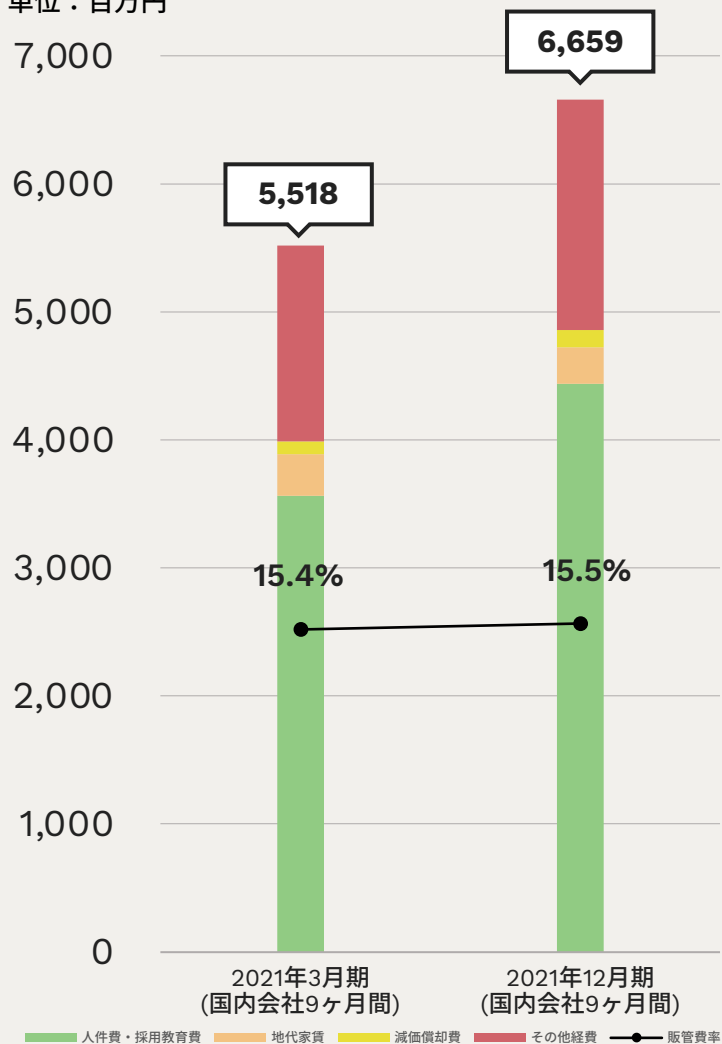
■ 取扱高 ■ 売上総利益 ●— 売上総利益率

※2021年3月期「国内会社9ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期の累計に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

# 販管費の前期比較

前期(国内会社9ヶ月間)との比較

単位：百万円



**当期販管費 66億59百万円**

前期(国内会社9ヶ月間)比：11億41百万円増 (20.7%増)

販管費率：15.5% (0.1ポイント増)

## 主な増加要因

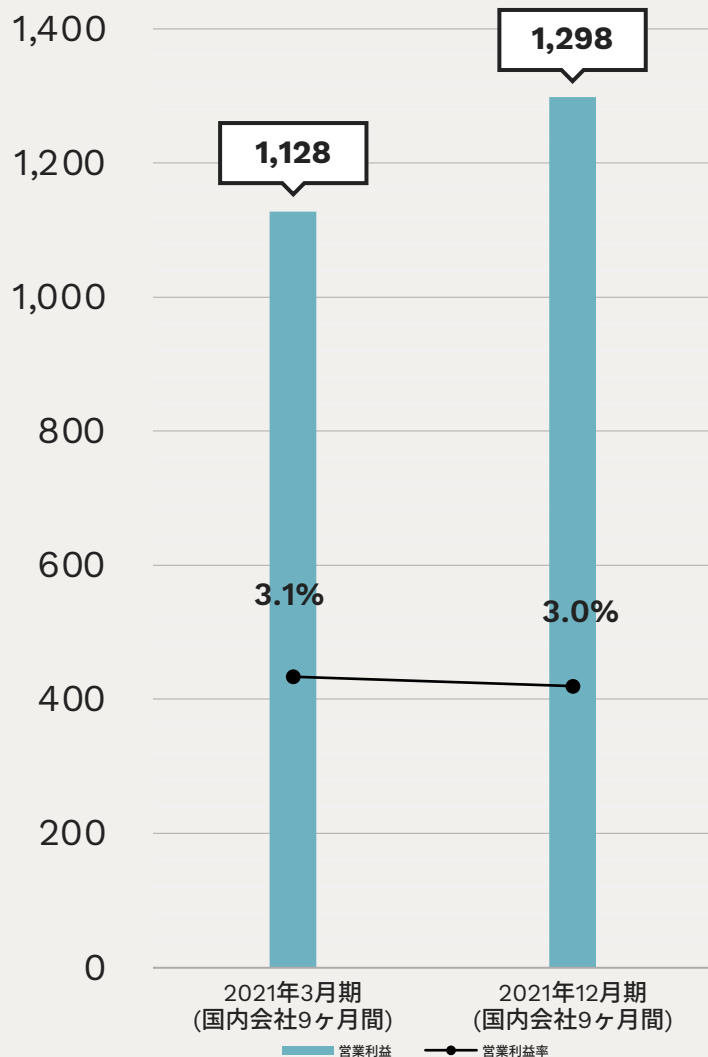
・人件費・採用教育費の増加：約8億75百万円増

※2021年3月期「国内会社9ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期の累計に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

# 営業利益の前期比較

前期(国内会社9ヶ月間)  
との比較

単位：百万円



**当期営業利益**

**12億98百万円**

前期(国内会社9ヶ月間)比：1億69百万円増 (15.1%増)

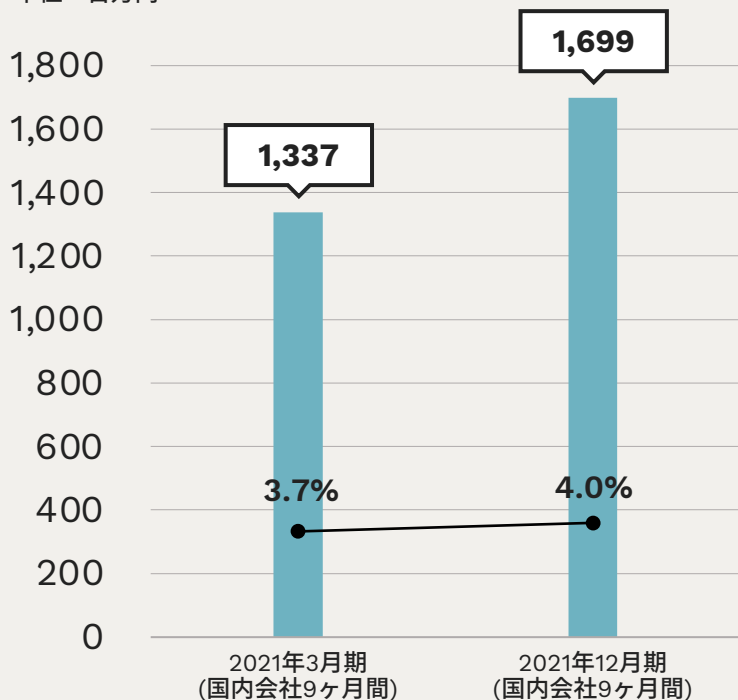
営業利益率：3.1% (0.1ポイント減)

※2021年3月期「国内会社9ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期の累計に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

# 経常利益の 前期比較

前期(国内会社9ヶ月間)との比較

単位：百万円



**当期経常利益 16億99百万円**

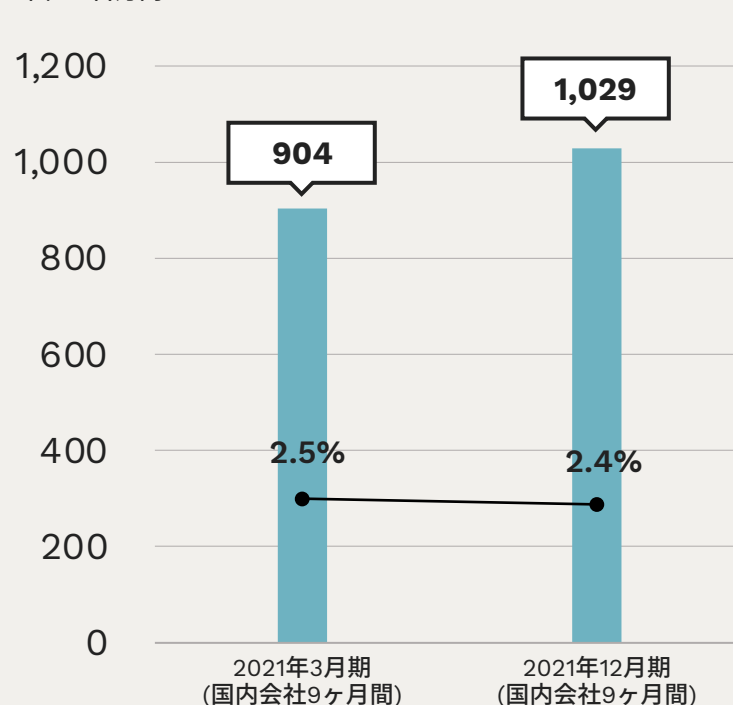
前期(国内会社9ヶ月間)比：3億61百万円増 (27.0%増)

経常利益率：4.0% (0.3ポイント増)

# 親会社株主に帰属する 当期純利益の 前期比較

前期(国内会社9ヶ月間)との比較

単位：百万円



親会社株主に帰属する

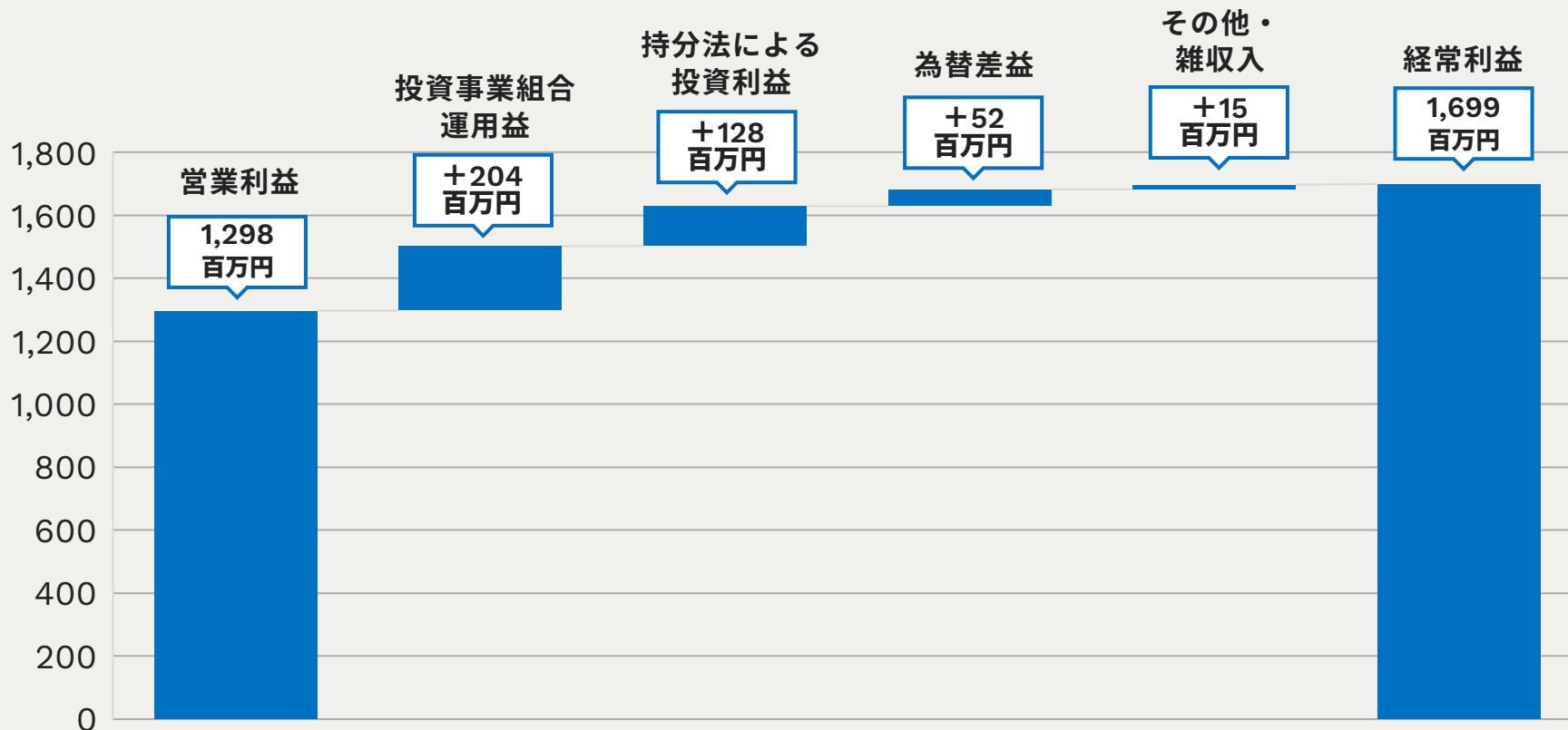
**当期純利益 10億29百万円**

前期(国内会社9ヶ月間)比：1億24百万円増 (13.7%増)

利益率：2.4% (0.1ポイント減)

※2021年3月期「国内会社9ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期の累計に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

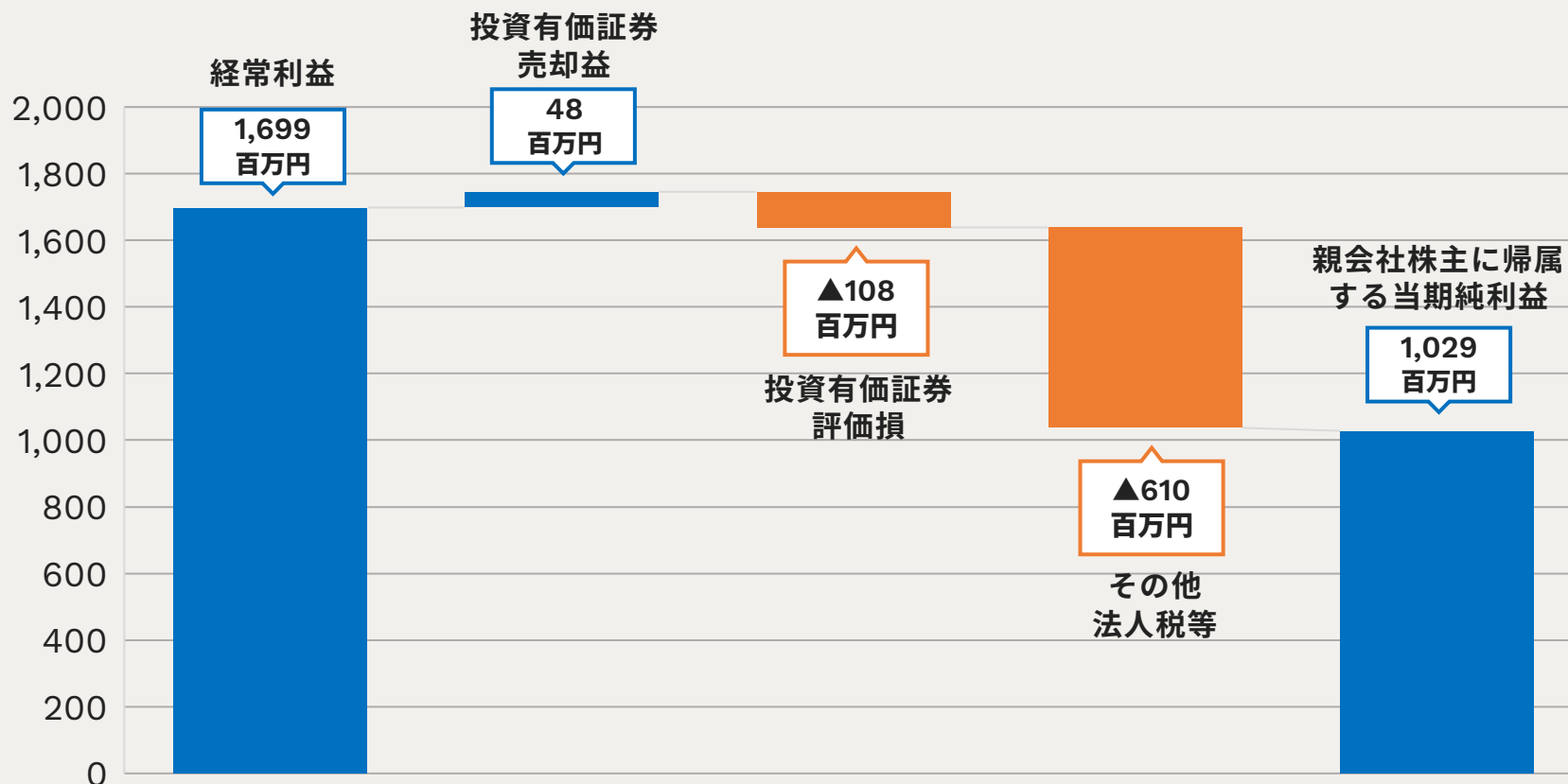
# 経常利益の推移



単位：百万円

投資事業組合運用益	・・・	2億4百万円	為替差益	・・・	52百万円
持分法による投資利益	・・・	1億28百万円	その他・雑収入	・・・	15百万円

# 親会社株主に帰属する当期純利益の推移



単位：百万円

投資有価証券売却益 . . . . 48百万円

投資有価証券評価損 . . . . ▲1億8百万円

その他法人税等 . . . . ▲6億10百万円



国内会社12ヶ月間の参考値での

# 当期業績と前期比較

[ 単位：百万円 ]

	2021年12月期 (国内会社12ヶ月間) 参考値	前期比 2021年3月期		
		実績	参考増減額	参考増減率
取扱高	56,055	49,020	+7,034	+14.4%
売上総利益	10,078	8,767	+1,311	+15.0%
販管費	8,282	7,141	+1,141	+16.0%
営業利益	1,796	1,626	+169	+10.5%
経常利益	2,227	1,866	+361	+19.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,546	1,422	+124	+8.7%

**取扱高** 前期比 **70億34百万円の増加** (14.4%増)

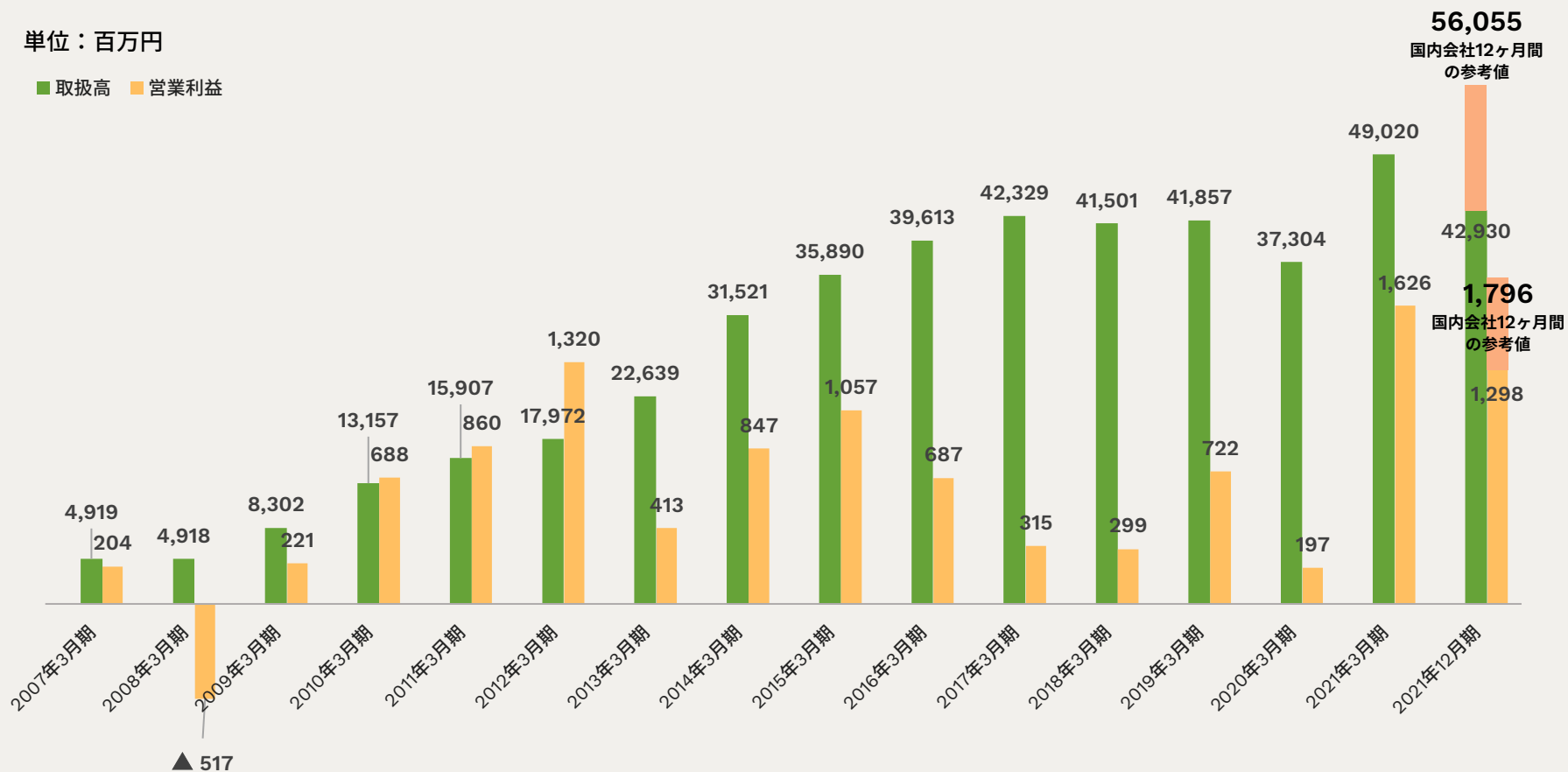
**営業利益** 前期比 **1億69百万円の増加** (10.5%増)

※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、国内会社の2021年3月期第4四半期(会計期間)を加えた参考値です。

# 年間取扱高・営業利益

単位：百万円

■ 取扱高 ■ 営業利益



取扱高

国内会社12ヶ月間の参考値で、  
過去最高額を達成。

営業利益

国内会社12ヶ月間の参考値で、  
過去最高益を達成。

※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の国内会社を加えた参考値です。

Chapter2 : **Third quarter results**

2.

第3  
四半期  
の業績

# 当四半期の業績と 前年同四半期比較

(海外子会社6ヶ月間との比較)

[単位：百万円]

	2021年12月期 第3四半期	前年同四半期比 2021年12月期第3四半期 (海外子会社6ヶ月間) 参考値		
		参考値	参考増減額	参考増減率
取扱高	17,332	14,402	+2,929	+20.3%
売上高	3,932	3,124	+807	+25.9%
売上総利益	3,312	2,653	+659	+24.8%
販管費	2,804	2,206	+598	+27.1%
営業利益	507	446	+61	+13.7%
経常利益	612	471	+141	+29.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	326	313	+12	+4.1%

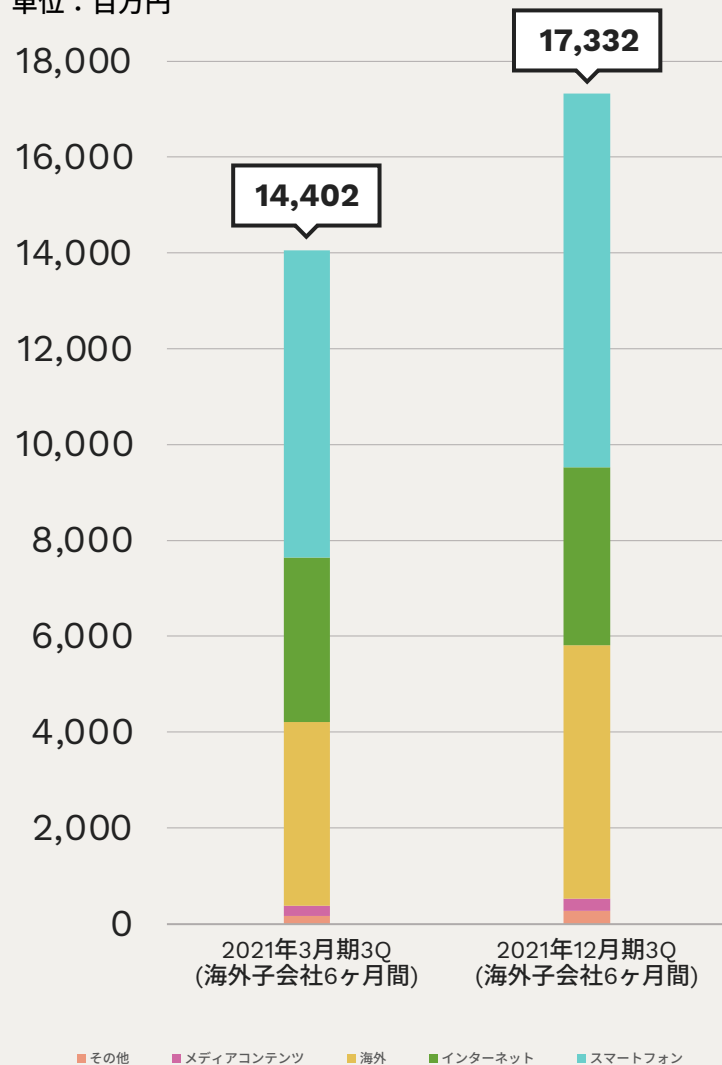
**取扱高** 前期(海外子会社  
6ヶ月間)比 **29億29百万円の増加 (20.3%増)**

**営業利益** 前期(海外子会社  
6ヶ月間)比 **61百万円の増加 (13.7%増)**

※2021年3月期第3四半期「海外子会社6ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期(会計期間)に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

# 取扱高の前年同四半期比較 (海外子会社6ヶ月間との比較)

単位：百万円



## 国内広告業 …… 115億11百万円

前年同四半期比：16億73百万円増（17.0%増）

## スマートフォン …… 76億91百万円

(主にアプリ広告)

前年同四半期比：12億83百万円増（20.0%増）

UNICORNの取扱高が大幅に増加した事に加え、マンガアプリ、博報堂D Yグループとの協業案件などが伸長した事により増加。ゲームアプリについてはほぼ横ばい。

## インターネット …… 38億19百万円

(PCWeb広告及びスマートフォンWeb広告)

前年同四半期比：3億90百万円増（11.4%増）

複数のクレジットカード案件の広告費が増加。ECについては一部の美容系クライアントの取扱高が伸長した事で増加。

## 海外事業 …… 52億84百万円

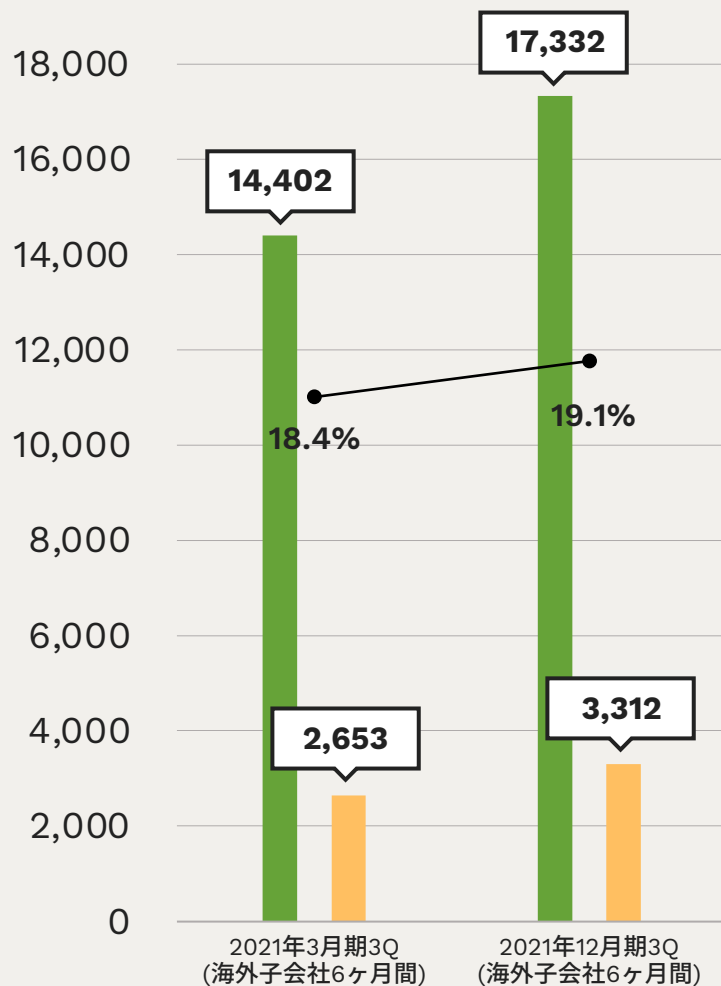
前年同四半期比：14億43百万円増（37.6%増）  
(海外子会社6ヶ月間)

中国クライアントの国外展開強化に伴う、グローバル広告配信により広告費が増加。台湾におけるアプリ広告が伸長。

# 売上総利益の前年同四半期比較

(海外子会社6ヶ月間との比較)

単位：百万円



**当四半期売上総利益 33億12百万円**

前年同四半期  
(海外子会社6ヶ月間)比 : 6億59百万円増 (24.8%増)

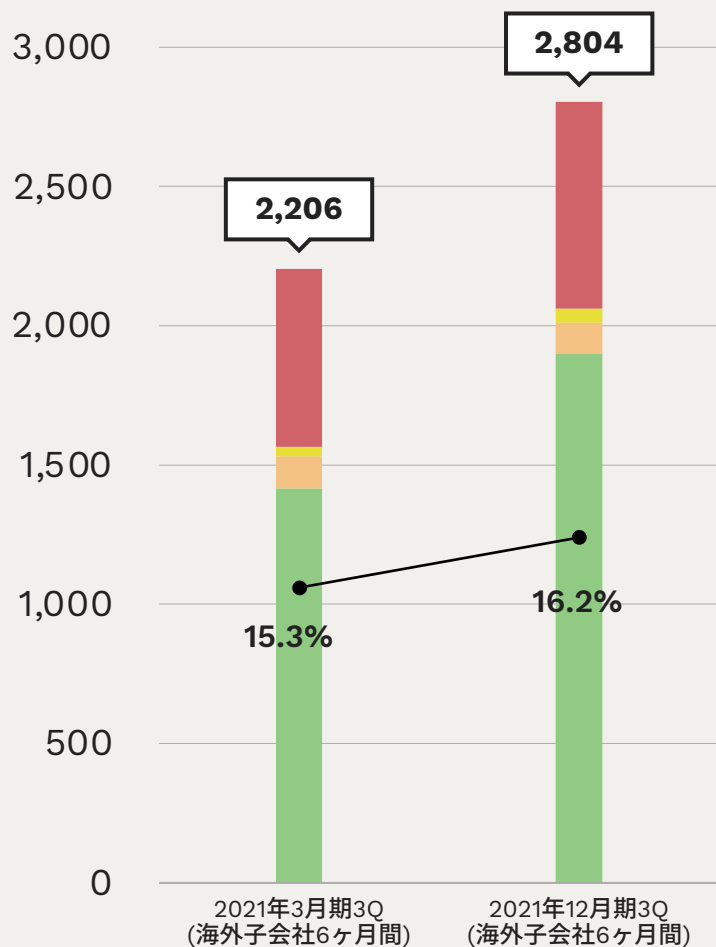
売上総利益率 : 19.1% (0.7ポイント増)

■ 取扱高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率

※2021年3月期第3四半期「海外子会社6ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期(会計期間)に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

# 販管費の前年同四半期比較 (海外子会社6ヶ月間との比較)

単位：百万円



## 当四半期販管費 28億4百万円

前年同四半期 (海外子会社6ヶ月間) 比 : 5億98百万円増 (27.1%増)

販管費率 : 16.2% (0.9ポイント増)

### 主な増加要因

- ・人件費・採用教育費の増加 : 約4億81百万円増

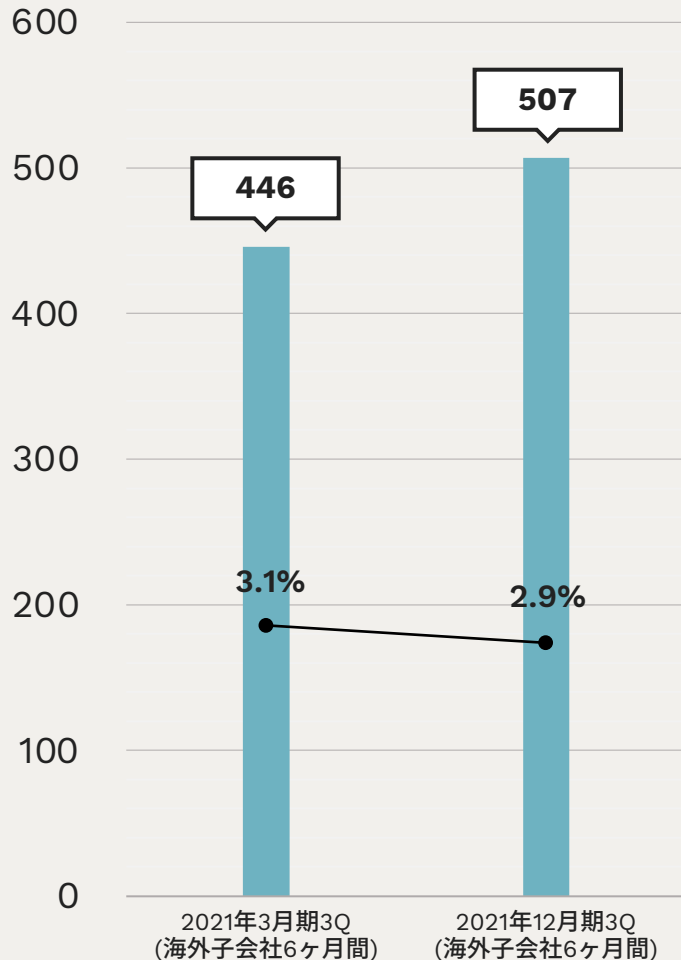
■ 人件費・採用教育費    ■ 地代家賃    ■ 減価償却費  
■ その他経費    ● 販管費率

※2021年3月期第3四半期「海外子会社6ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期(会計期間)に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

# 営業利益の前年同四半期比較

(海外子会社6ヶ月間との比較)

単位：百万円



**当四半期営業利益 5億7百万円**

前年同四半期  
(海外子会社6ヶ月間)比 : 61百万円増 (13.7%増)

営業利益率 : 2.9% (0.2ポイント減)

■ 営業利益 ● 営業利益率

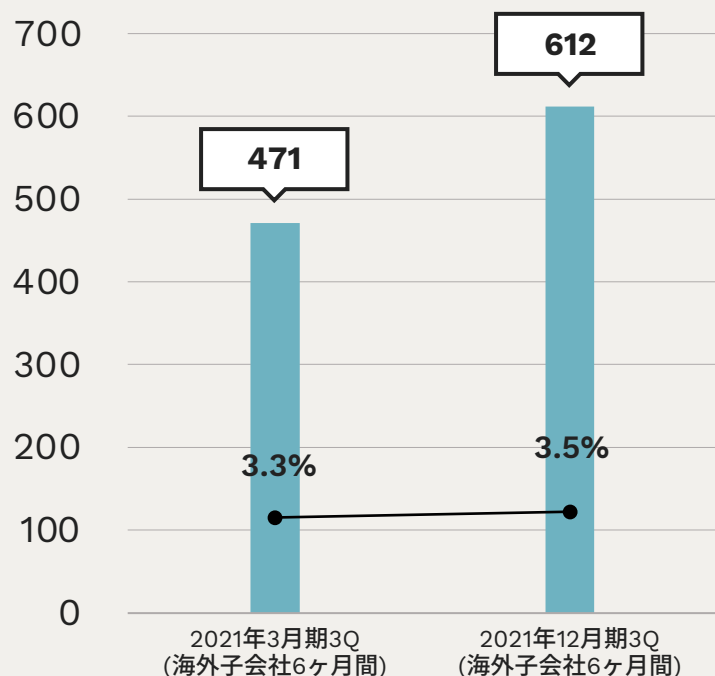
※2021年3月期第3四半期「海外子会社6ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期(会計期間)に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。



# 経常利益の 前年同四半期比較

(海外子会社6ヶ月間との比較)

単位：百万円



**当四半期経常利益 6億12百万円**

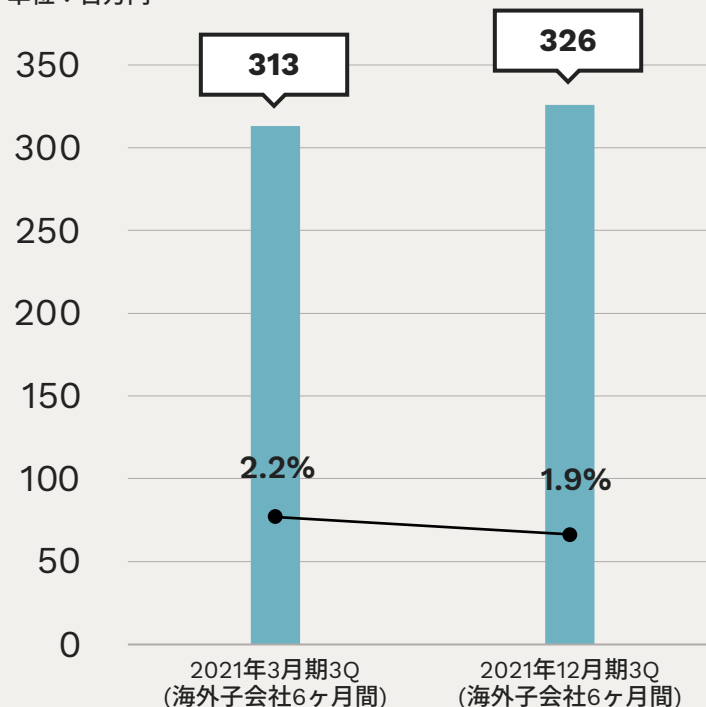
前年同四半期  
(海外子会社6ヶ月間)比 : 1億41百万円増 (29.9%増)

経常利益率 : 3.5% (0.2ポイント増)

# 親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前年同四半期比較

(海外子会社6ヶ月間との比較)

単位：百万円



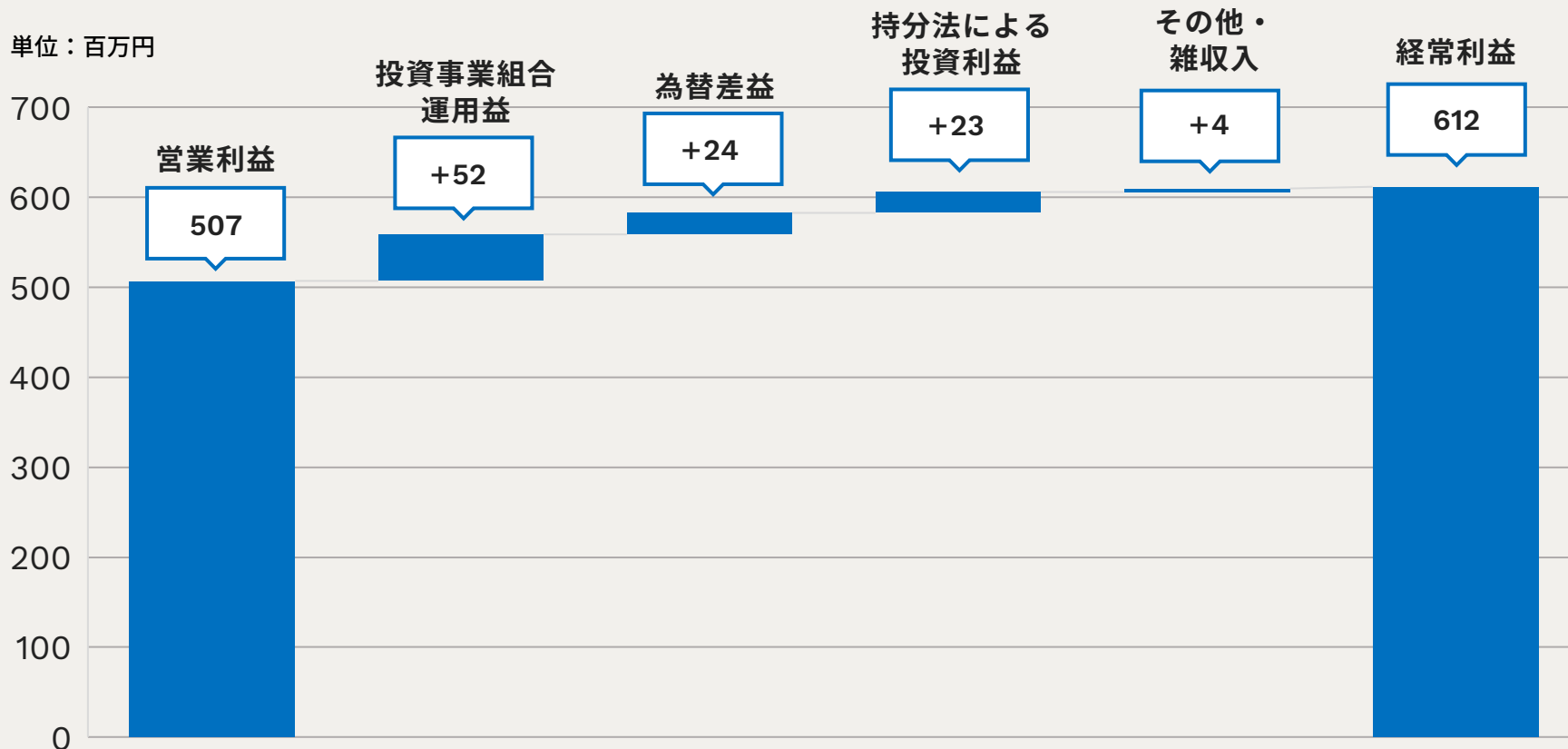
親会社株主に帰属する  
**当四半期純利益 3億26百万円**

前年同四半期  
(海外子会社6ヶ月間)比 : 12百万円増 (4.1%増)

利益率 : 1.9% (0.3ポイント減)

※2021年3月期第3四半期「海外子会社6ヶ月間」とは、2021年3月期第3四半期(会計期間)に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の海外子会社を加えた数値です。

# 経常利益の推移



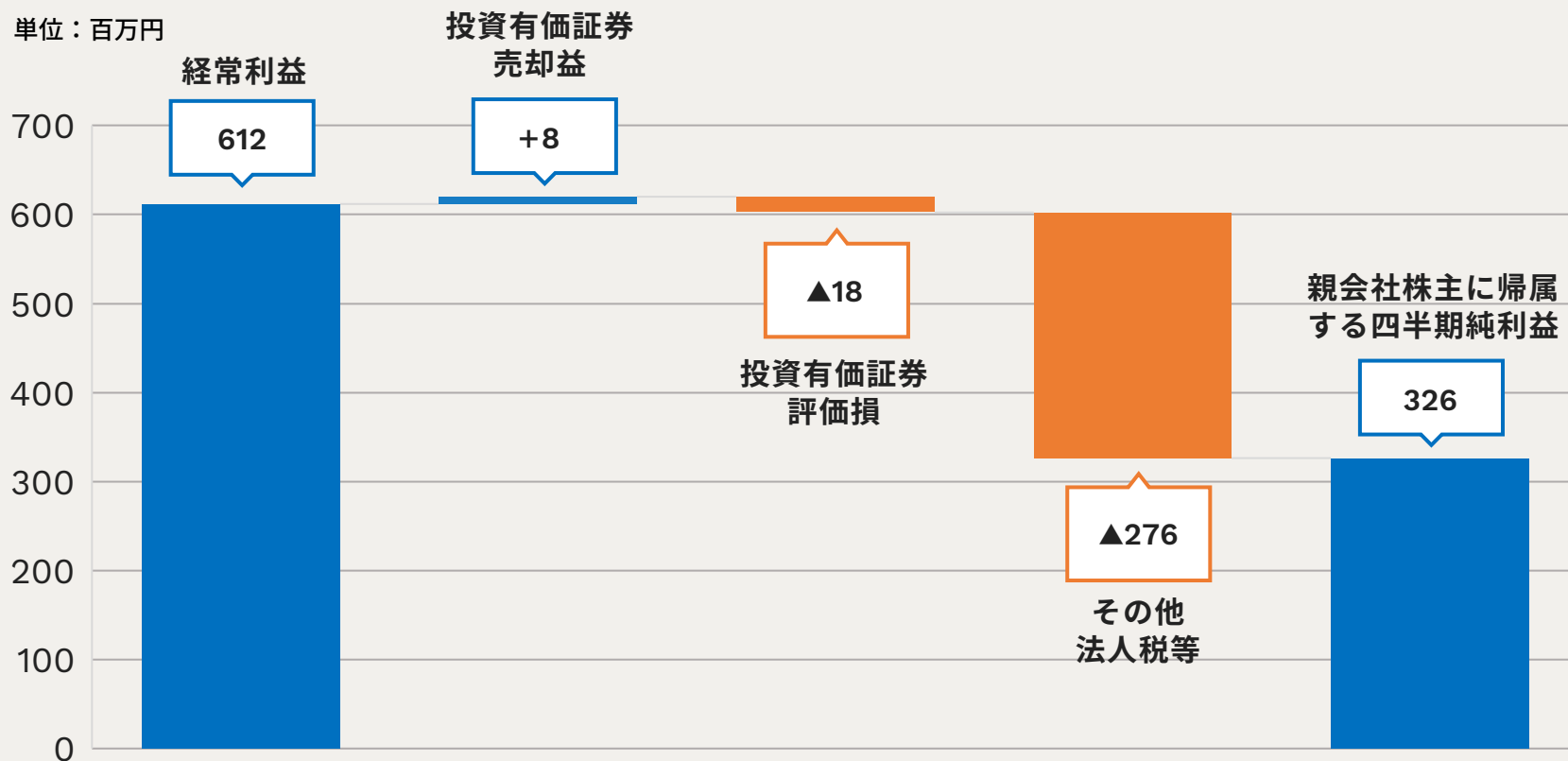
投資事業組合運用益 . . . 52百万円

持分法による投資利益 . . . 23百万円

為替差益 . . . . . 24百万円

その他・雑収入 . . . . . 4百万円

# 親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



投資有価証券売却益 . . . . . 8百万円

投資有価証券評価損 . . . . . ▲18百万円

その他法人税等 . . . . . ▲2億76百万円

3

Chapter 3 : Shareholder returns

株

主

還

元

# 株主還元

2021年12月期 期末配当

1株当たり **5円17銭**

## 配当方針

2021年12月期からの3ヶ年（2021年12月期～2023年12月期）の普通配当につきましては、第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向（当期は第22期である為21%）より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり配当金2円70銭を基準に每期10銭を増配した1株当たり配当金のどちらか高い方を目途といたします。

## 3ヶ年（2021年12月期～2023年12月期）の配当方針

### 第22期

2021年12月期

配当性向21%

もしくは

1株当たり2円70銭

の  
高い方

### 第23期

2022年12月期

配当性向22%

もしくは

1株当たり2円80銭

の  
高い方

### 第24期

2023年12月期

配当性向23%

もしくは

1株当たり2円90銭

の  
高い方

※ただし、大きな業績の変動や大規模なM & A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。

業績  
業績  
業績  
業績

Chapter 4 : Forecasts

4

# 2022年12月期連結業績予想

[ 単位：百万円 ]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2022年12月期 業績予想 (国内会社12ヶ月間)	58,000	13,500	1,100	1,400	700

## 2021年12月期(国内会社12ヶ月間) 参考値

[ 単位：百万円 ]

	取扱高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2021年12月期 (国内会社12ヶ月間) 参考値	56,055	-	1,796	2,227	1,546

※ 2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期（会計期間）の国内会社を加えた参考数値です。

※ 2021年1月～3月は、新収益認識基準の適用前のため、2021年12月期「国内会社12ヶ月間」の「売上高」については記載しておりません。

※ 2021年12月期は決算期変更のため国内会社の決算期間は9ヶ月あり、上記「2021年12月期（国内会社12ヶ月間）」は参考値となりますので、増減額及び増減率は表記しておりません。

# 人・事業・機械への投資

## 2022年12月期は約5.2億円を投資予定

事業年度	投資額	営業利益	投資前営業利益
2022年12月期 計画 (国内会社12ヶ月間)	約5.2億円	11億円	約16.2億円
2021年12月期 参考値 (国内会社12ヶ月間)	約3.7億円	約17.9億円	約21.6億円



人への投資  
(人員強化)

約2.4億円



事業への投資  
(事業拡大)

約0.9億円



機械への投資  
(業務効率化)

約1.9億円

「人への投資」「事業への投資」「機械への投資」を行い  
広告事業の地盤固めを行う。

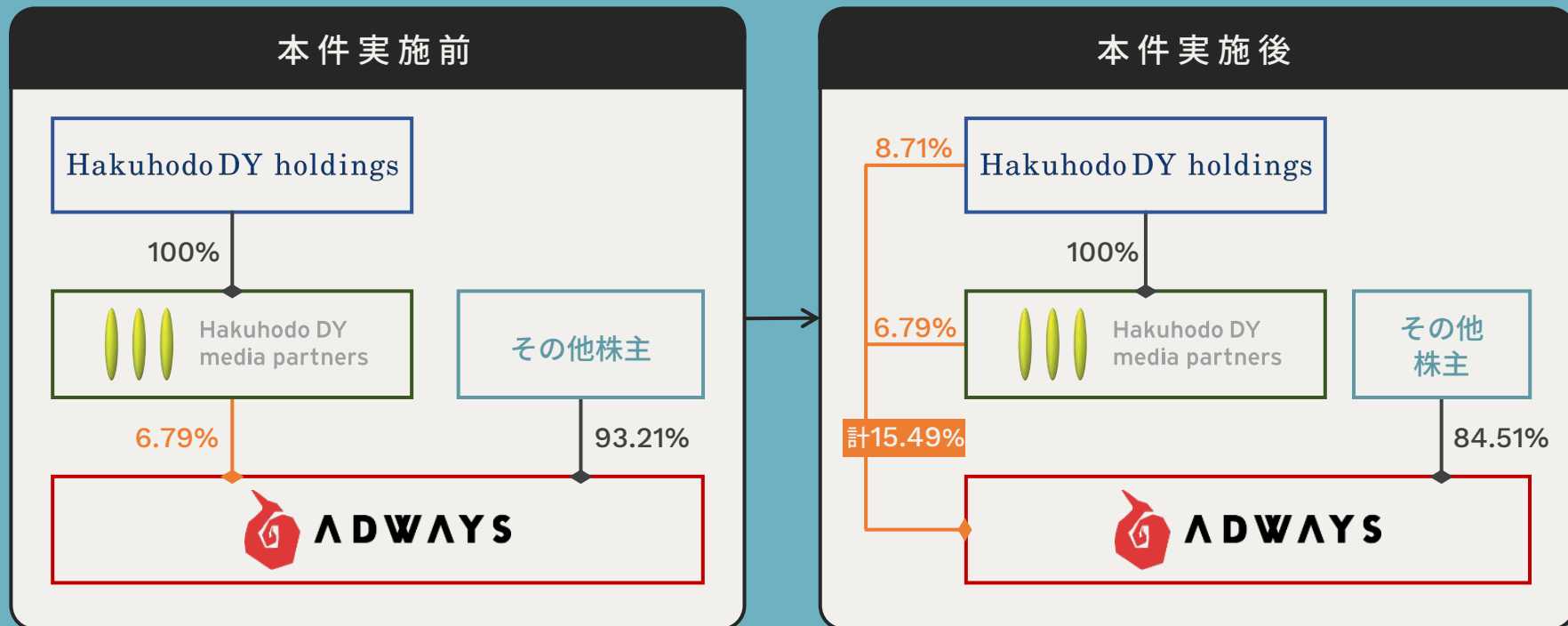


5.

Chapter 5 : business overview

事業概況

# 株式会社博報堂 D Y ホールディングスとの資本提携契約を締結

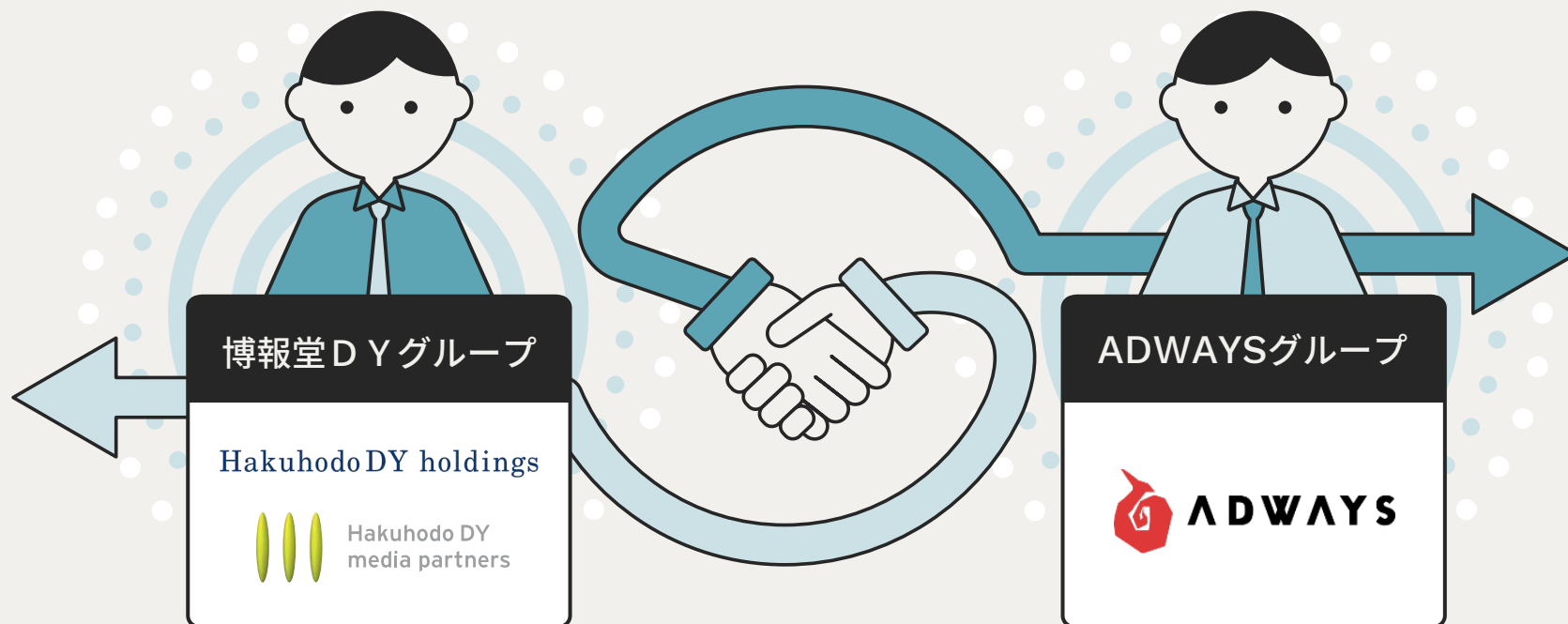


2019年11月に株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズと資本業務提携契約を締結し、両社協業による広告案件獲得数の拡大、売上高の増加を実現してきましたが、長期的でより強固なパートナーシップを構築するため、2021年11月に博報堂 D Y メディアパートナーズの親会社である株式会社博報堂 D Y ホールディングスと資本提携契約を締結いたしました。

※記載の比率は2021年12月31日時点での議決権個数に対する比率です。

# 資本提携契約による 戦略的パートナーシップの強化

当社グループが有する「運用力」「クリエイティブ力」「開発力」等と、博報堂D Yグループが有するテレビ×デジタルの統合プランニングやマーケティング戦略設計に関するノウハウといった両グループの強みを更に掛け合わせ、より強固な協力体制を構築



テレビ×デジタルの統合プランニングや  
マーケティング戦略設計に関するノウハウ

運用力・クリエイティブ力・開発力

# JICDAQ（一般社団法人デジタル 広告品質認証機構）の「品質認証 事業者」として認証

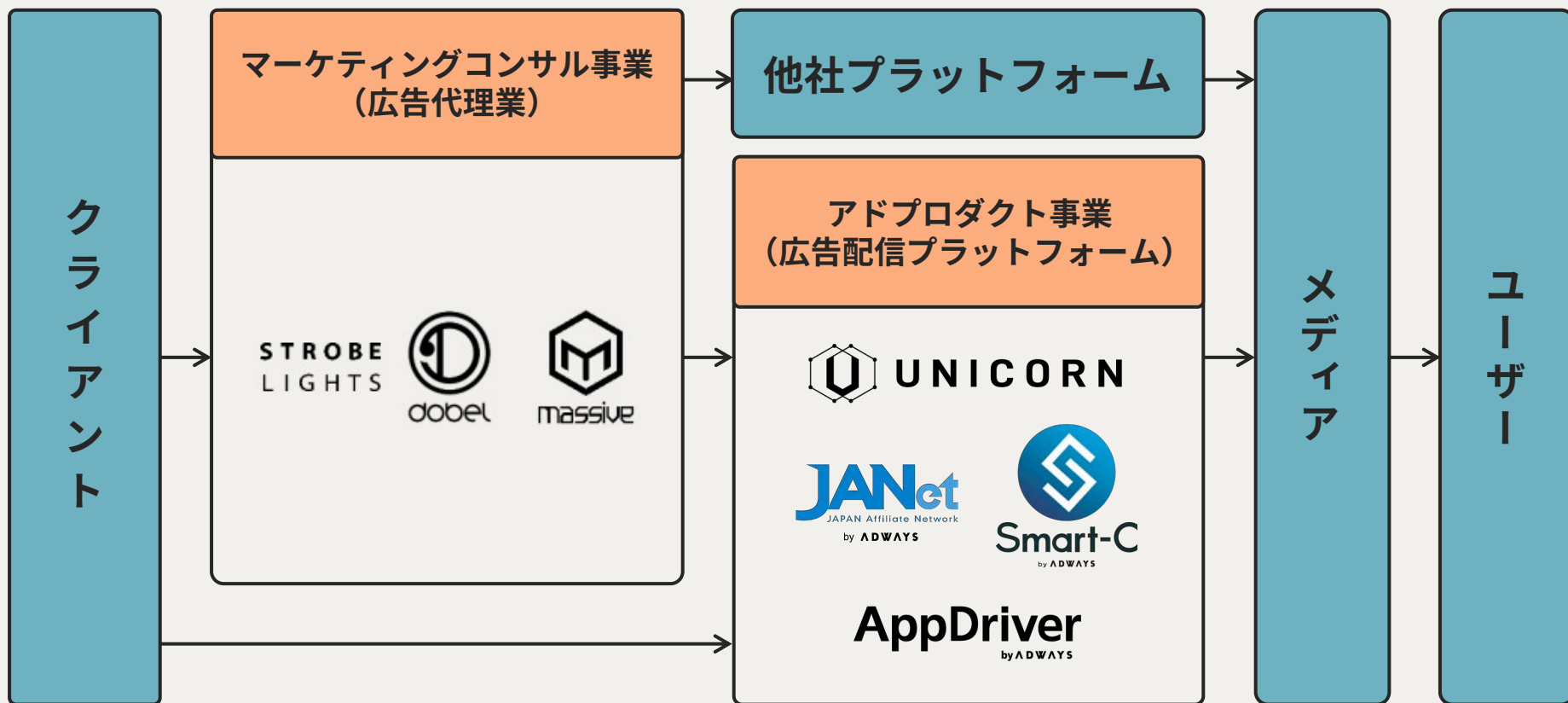


アドウェイズとUNICORNは、「アドフラウドを含む無効トラフィックの除外」と「広告掲載先品質に伴うブランドセーフティの確保」に関わる業務プロセスの認証基準に沿った業務を適切に行っている事業者として、JICDAQ「品質認証事業者」に認証されました。

# 広告事業の概況

Third quarter

## 広告事業の分類



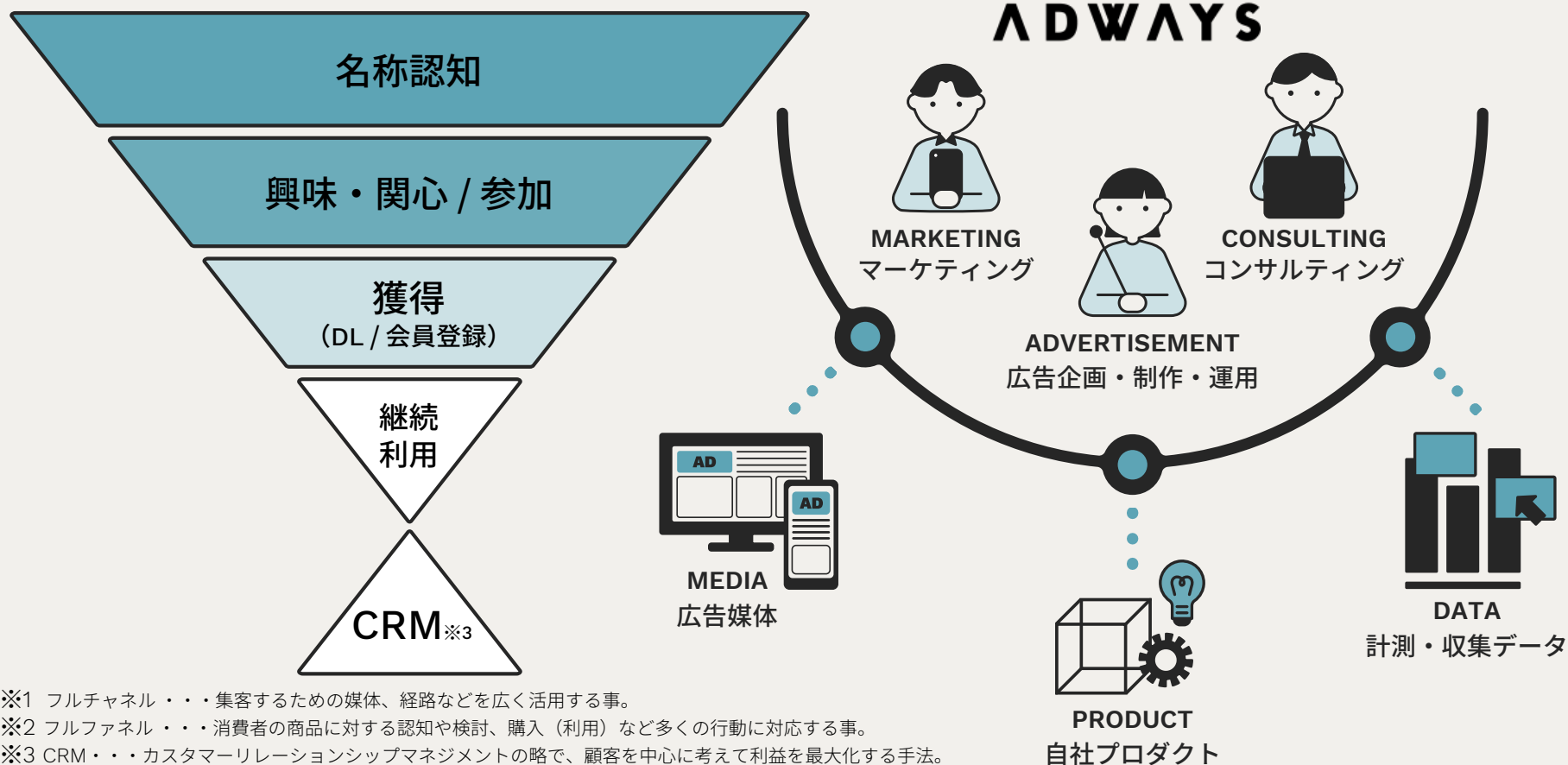
広告事業を、他社サービスの販売も行うマーケティングコンサル事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプロダクト事業に分類。

# マーケティング コンサル 事業

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

# オフライン&オンラインの統合プランニング による包括的なマーケティング支援

フルチャネル※1・フルファネル※2での包括的なマーケティング支援を実現。  
マルチニーズ、マルチターゲットに対してアプローチが可能。



※1 フルチャネル・・・集客するための媒体、経路などを広く活用する事。

※2 フルファネル・・・消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事。

※3 CRM・・・カスタマーリレーションシップマネジメントの略で、顧客を中心に考えて利益を最大化する手法。

# テクノロジーを駆使し、 本質的な広告効果の最大化を図る

## 媒体分析ツール



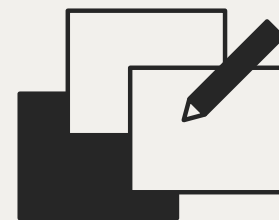
各媒体のレポートデータや運用者の運用ログから、媒体のアルゴリズム解析および最適な運用手法を確立。

## 運用 アシスタントツール



最適な運用手法を案件のジャンルに合わせてシステムが提案。細やかな運用最適化によって広告効果を向上。

## クリエイティブ 分析ツール



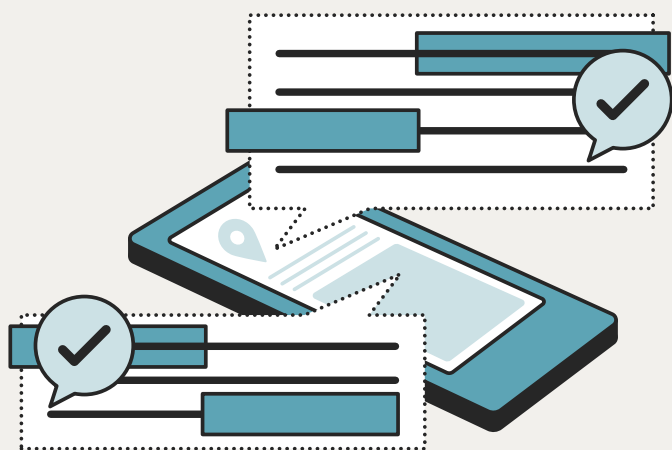
媒体視点でのクリエイティブを分析。各媒体のアルゴリズムを分析し、最適なクリエイティブ制作・運用を実現。

主要メガプラットホームのアルゴリズムを解析し、  
最適な運用を実現することで広告効果最大化へ導く。



# ReproとASO施策に関する 共同ソリューションの提供を開始

ASO※施策によりアプリストアの最適化及び広告効果最大化を実現

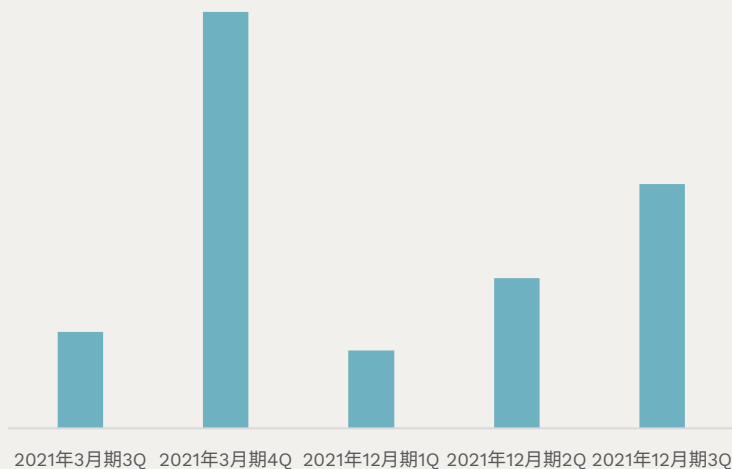


豊富な運用実績を持つアドウェイズのASO施策  
コンサルティング力に加え、ASOエキスパート  
であるReproが提供するASOインハウス化支  
援ツール「ASO Insight」を活用することで、  
より精度の高いASO施策が可能に。

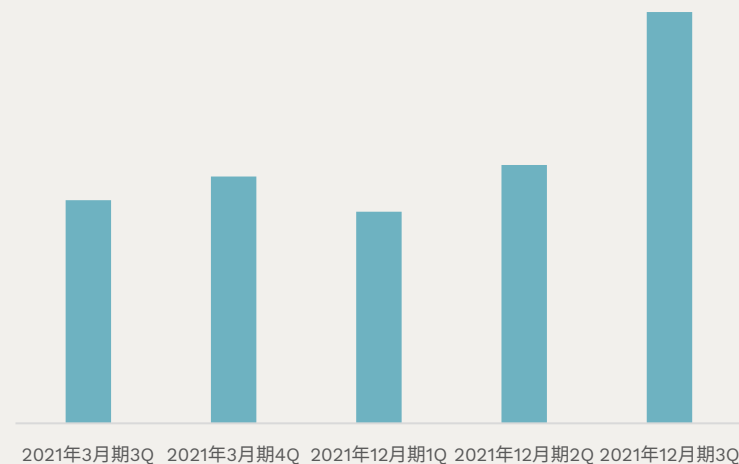
※ ASO (App Store Optimization) とは、アプリストアのアプリ詳細ページの内容を最適化させることで検索順位を上位表示させ、アプリ詳細ページへの流入数を増やしたり、ダウンロード (DL) 率・数を向上させるために講じる施策のこと。  
当社ではApple Search Adsの運用も提供しておりますが、ASO施策を強化することで、広告経由とオーガニックの双方におけるインストール最大化を図ることができ、非常に高い相乗効果が期待されます。

# 博報堂 D Y グループ 資本業務提携の 進捗

博報堂 D Y グループ 協業  
取扱高推移



博報堂 D Y グループ 協業  
アカウント数推移



前四半期比較、前年同四半期比較ともに、  
取扱高、アカウント数は大きく伸長。

アドプロダクト

事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業



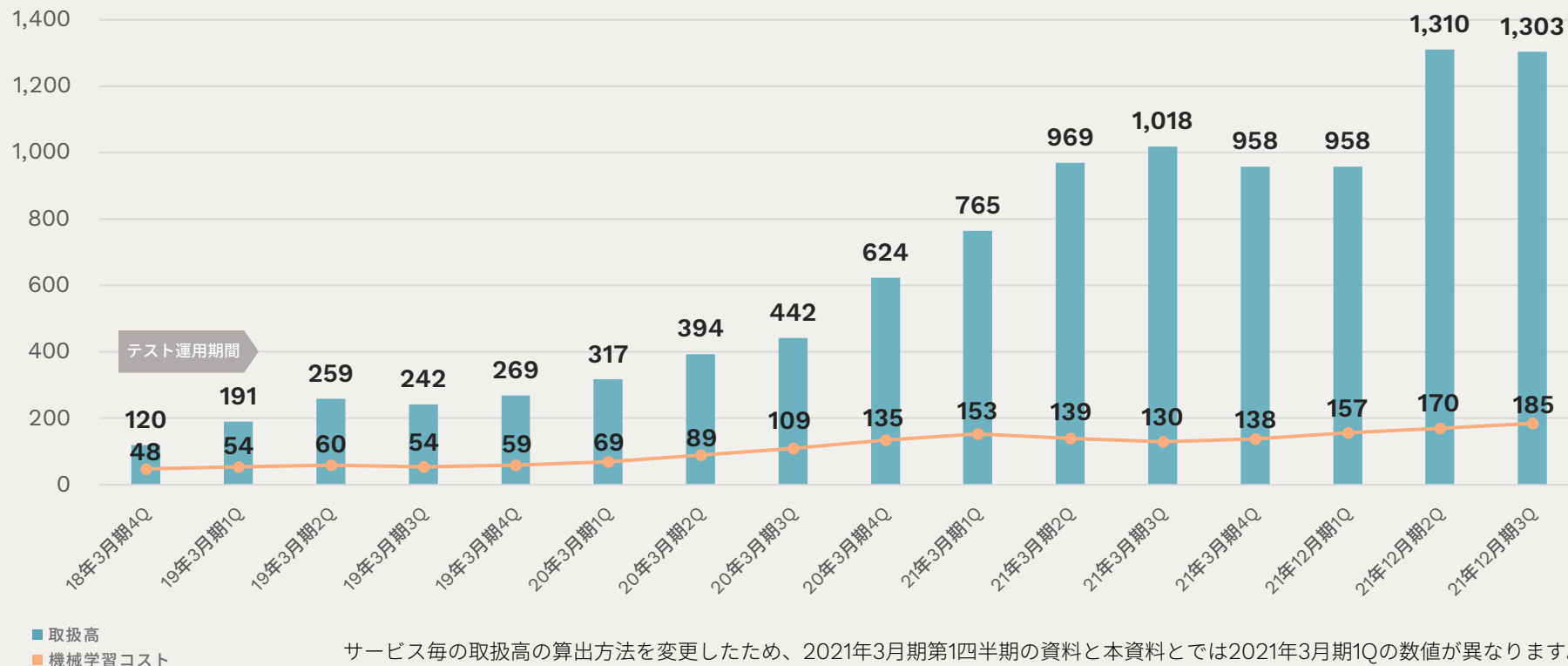
**UNICORN**  
**REDEFINE DIGITAL MARKETING.**

# UNICORNの進捗

Third quarter

## UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



サービス毎の取扱高の算出方法を変更したため、2021年3月期第1四半期の資料と本資料とでは2021年3月期1Qの数値が異なります。

取扱高は前年同期比で136%と伸長。

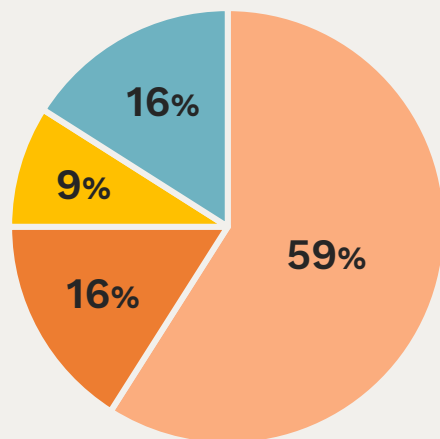
About UNICORN

# UNICORNの進捗

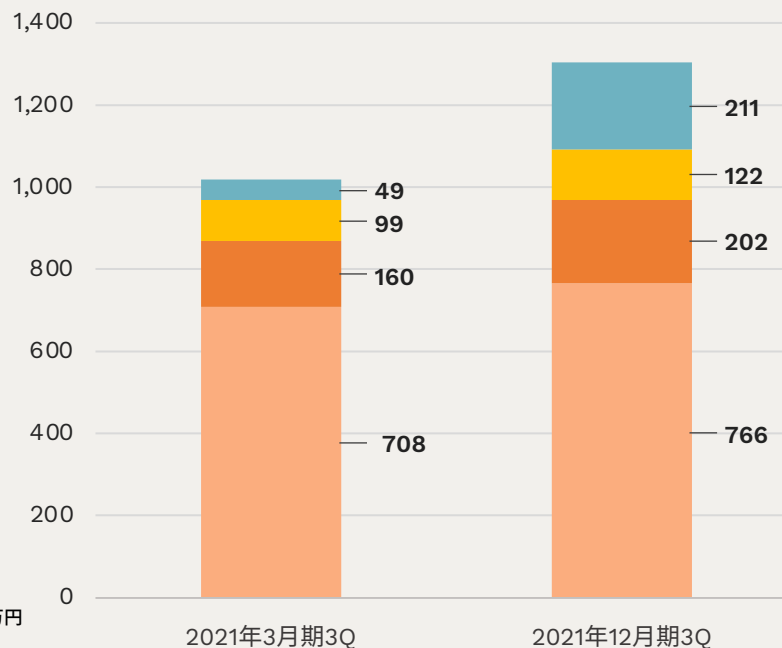
Third quarter

## ジャンル別進捗

2021年12月期3Q実績



■ ゲーム ■ マンガ ■ VOD ■ その他



単位：百万円

■ ゲーム ■ マンガ ■ VOD ■ その他

全カテゴリが大きく伸長。その他はブランド広告主を中心にWeb領域が第4の柱になっていく見通し。

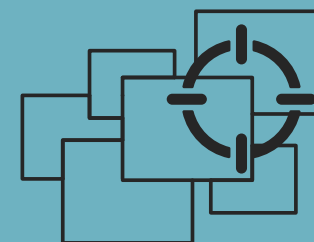
About UNICORN

# 先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



## 最先端の クリエイティブフォーマット

Banner／Video  
Reward Video  
Native／Interactive



## UNICORNでの 高精度な配信最適化

コンテキスト／ロケーション  
デモグラフィック  
キャリア／承認リスト  
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、  
これまでは出会えなかったユーザーと  
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

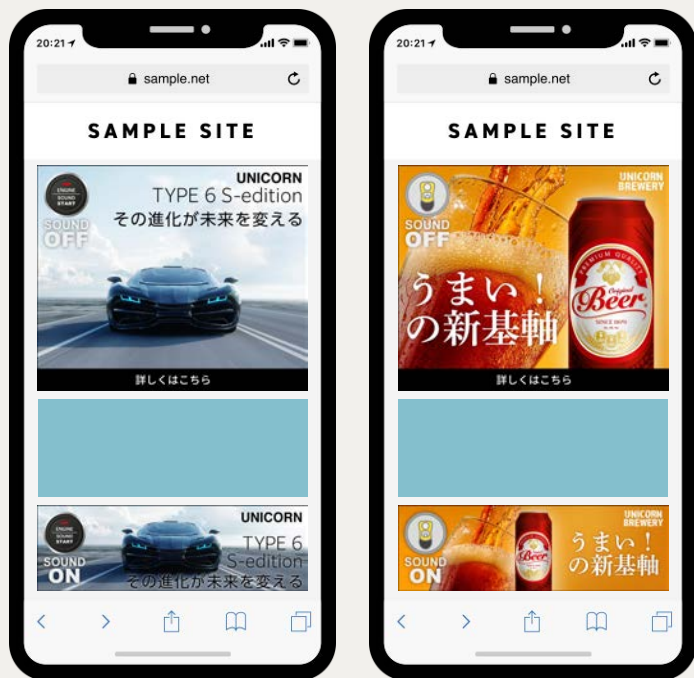
# ブランド広告主への取り組み

## Audio Display Ad

## Teads Japan株式会社と SSP領域にて連携



バナーから音が出ます



# Teads

イメージに合わせたオーディオを再生し、  
視覚と共に聴覚にもアプローチが可能

ブランドの認知やユーザー獲得、  
より高い広告の費用対効果を実現



# 海外広告事業

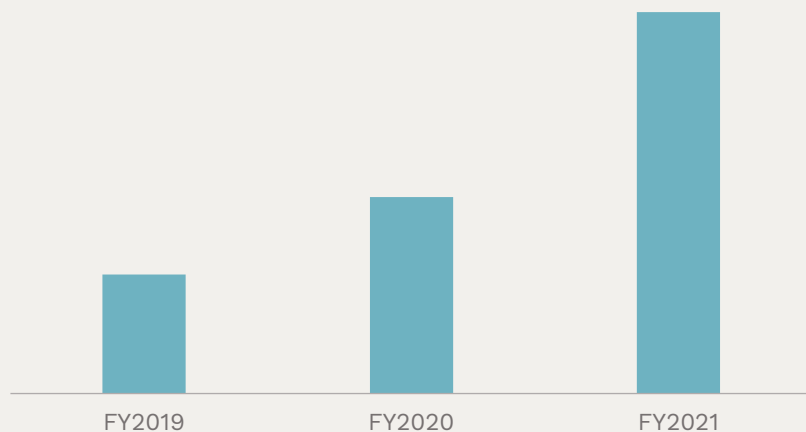
海外におけるアプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

# 海外広告事業

Third quarter

## 中国

中国アプリ事業（取扱高推移）



2021年12月期のアプリ事業  
取扱高は、前年同期比194%

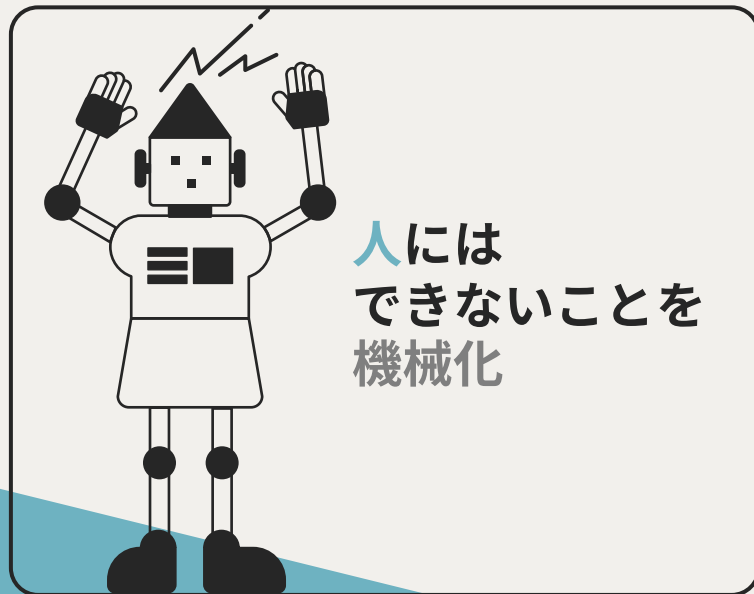
## 台湾

台湾のクリエイティブエージェンシー  
「MATCH Advertising」を  
連結子会社化

# MATCH Advertising

マーケティング戦略、  
クリエイティブ領域を強化


# 人と機械の共生



×



## パフォーマンスの最大化



# Beyond Everything Internet

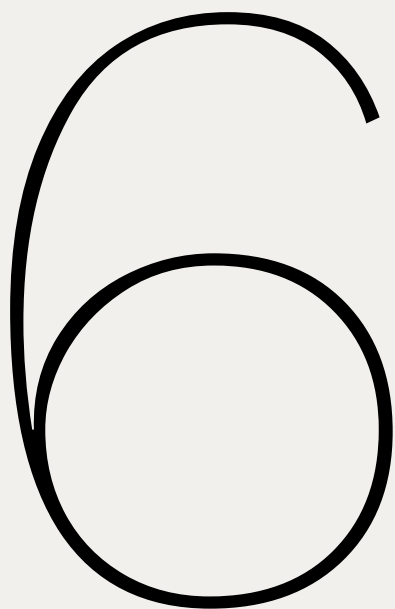
インターネットの全てを越えていく

なにが  
すげー  
みんなのはじめ

# 本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2022年2月10日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。



Chapter 6 : Supplementary materials

補 足  
資 料

# 連結取扱高 年間業績推移

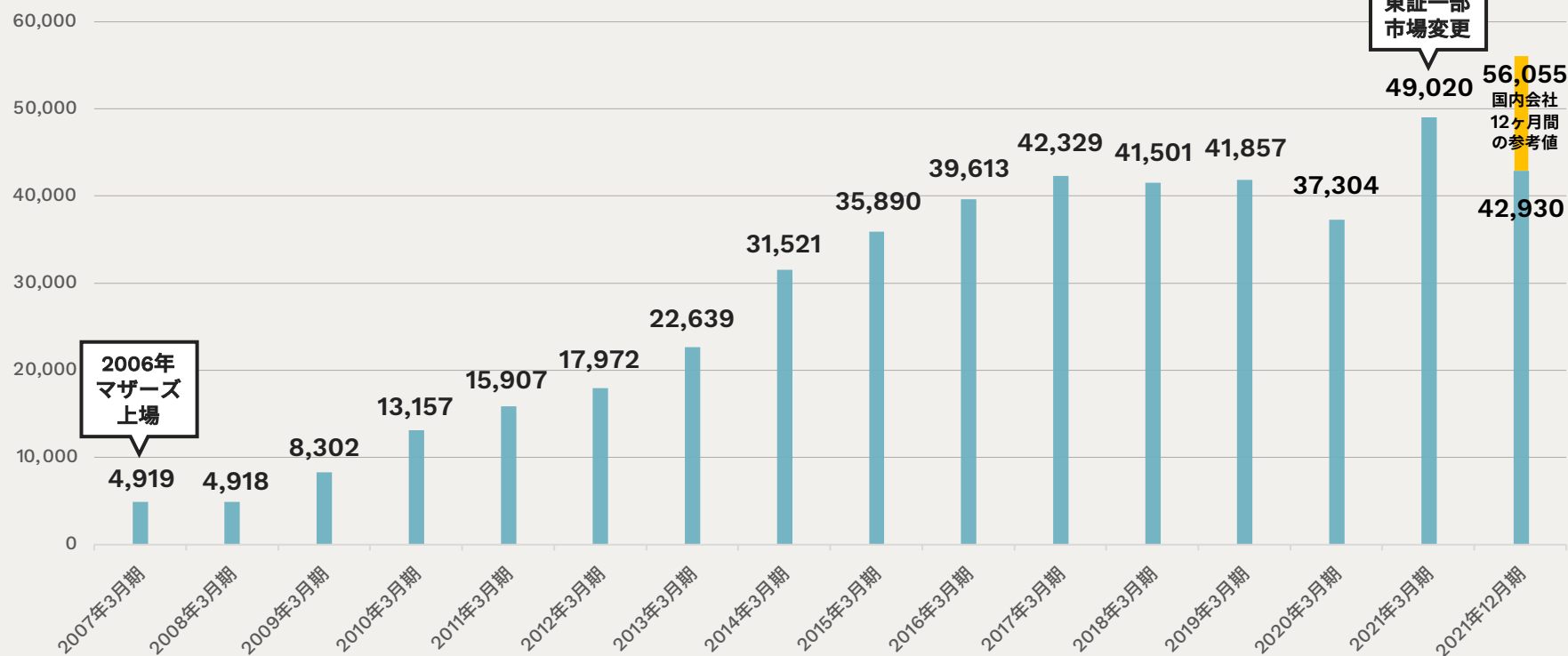
PC/フィーチャーフォン  
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業  
の開始と拡大

海外への注力

新規プロダクト  
への注力

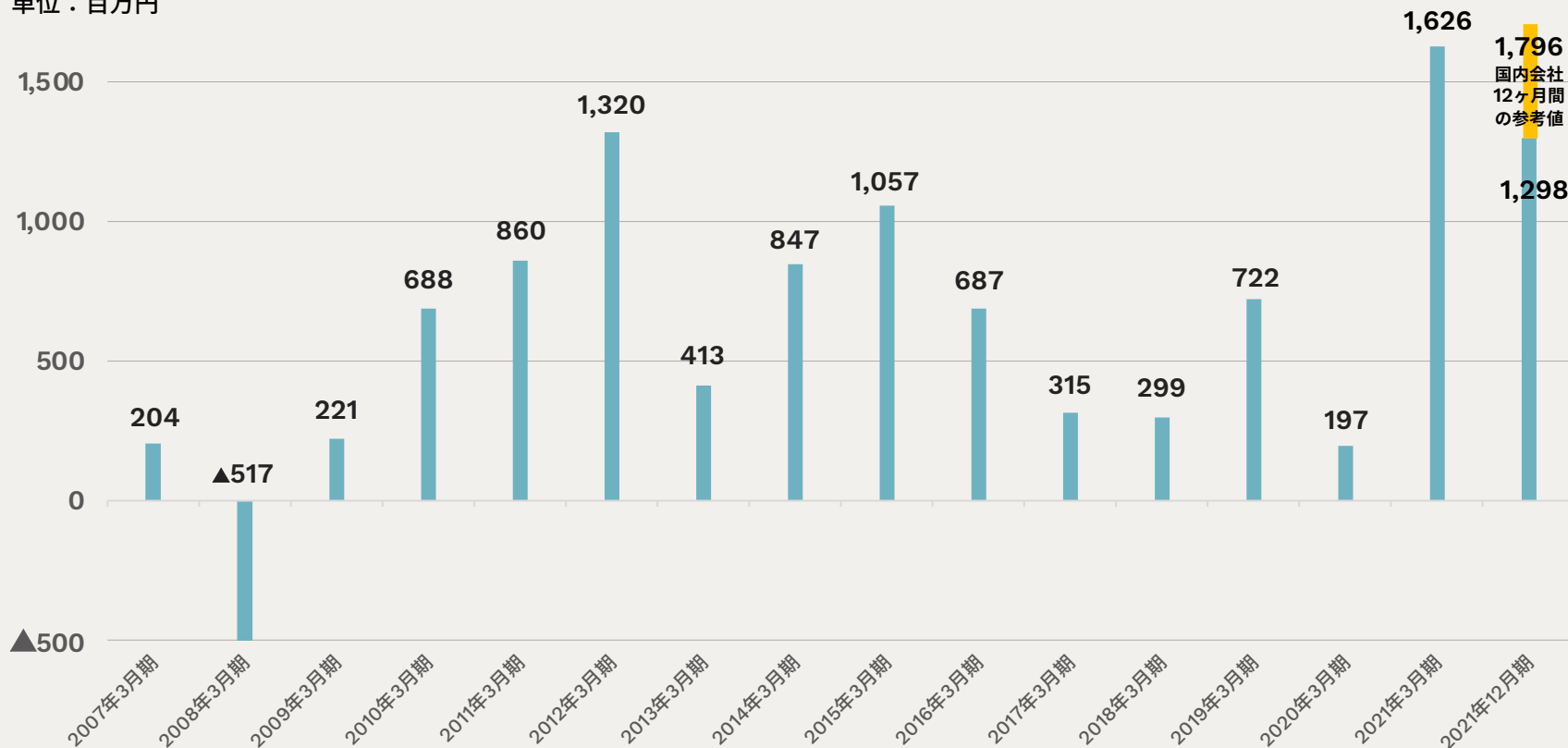
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の国内会社を加えた参考値です。  
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

# 連結営業利益 年間業績推移

単位：百万円

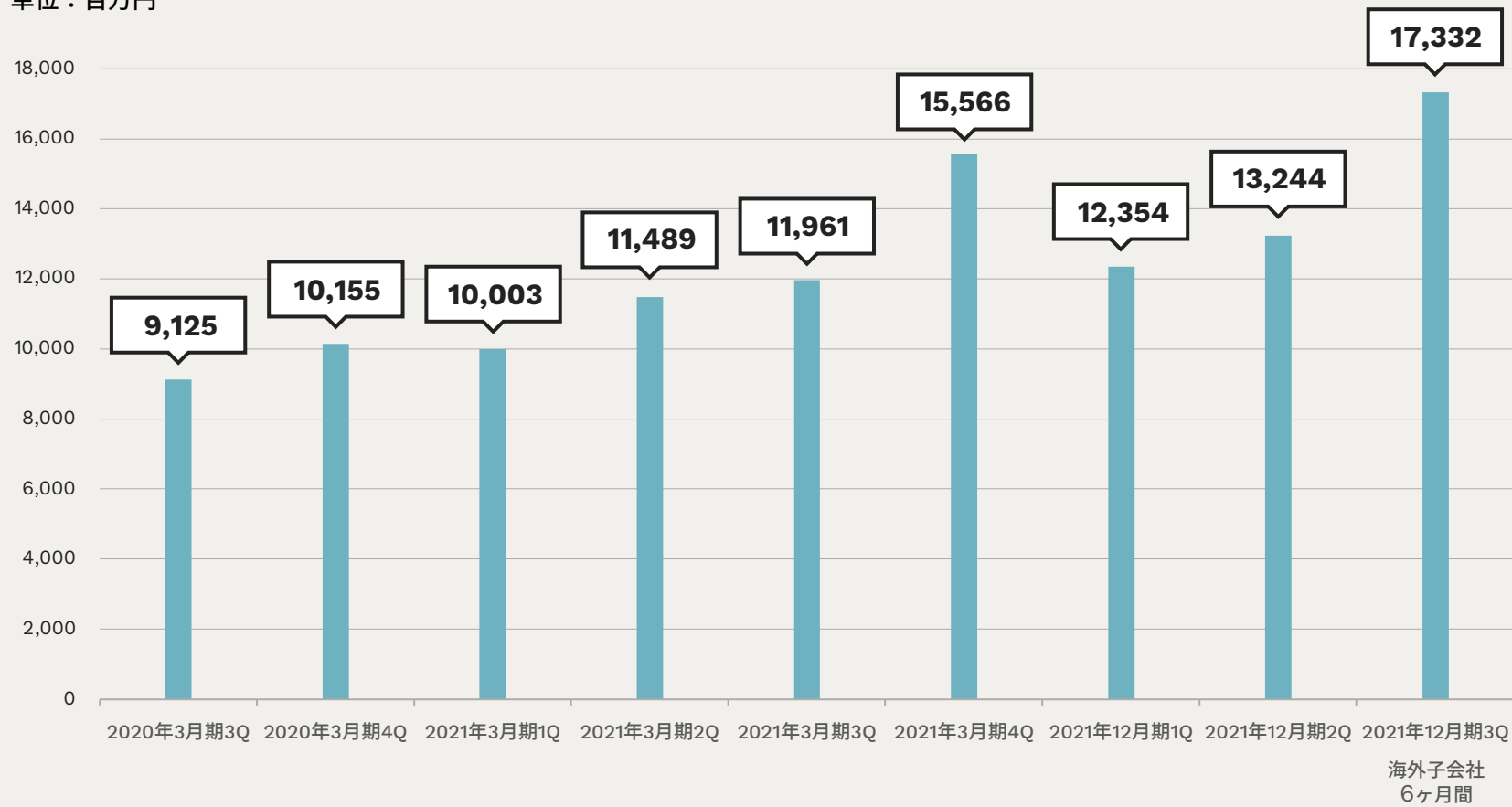


※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の国内会社を加えた参考値です。  
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)



# 連結取扱高 四半期推移

単位：百万円



※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 連結売上原価 四半期推移

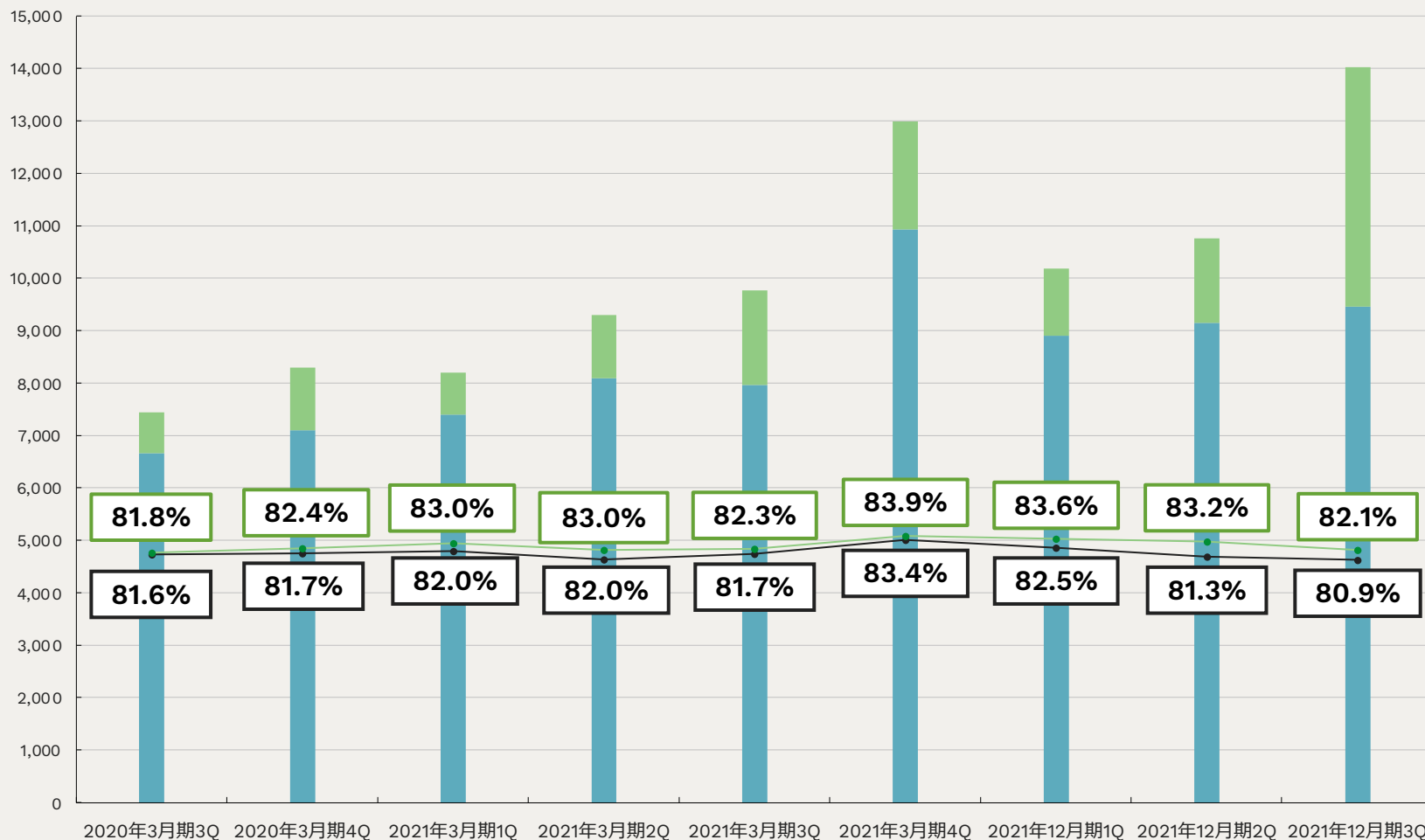
単位：百万円

■ 掲載料

■ その他原価

—●— 売上原価率

—●— 掲載料率



海外子会社  
6ヶ月間

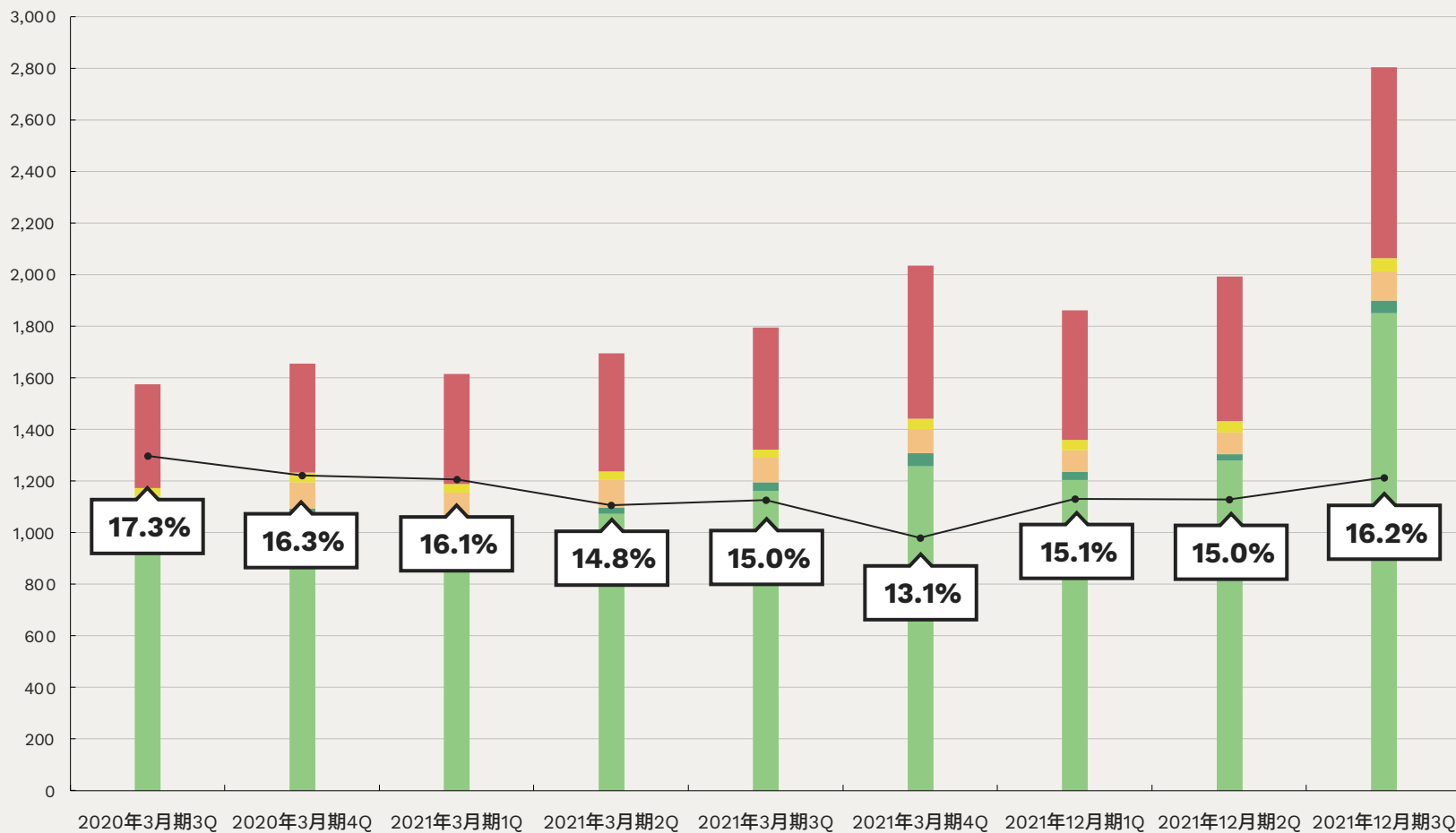
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

※掲載料、掲載料率は単体での数値となります。

# 連結販管費 四半期推移

単位：百万円

■ 人件費   
 ■ 採用教育費   
 ■ 地代家賃   
 ■ 減価償却費   
 ■ その他経費   
 ●— 販管費率

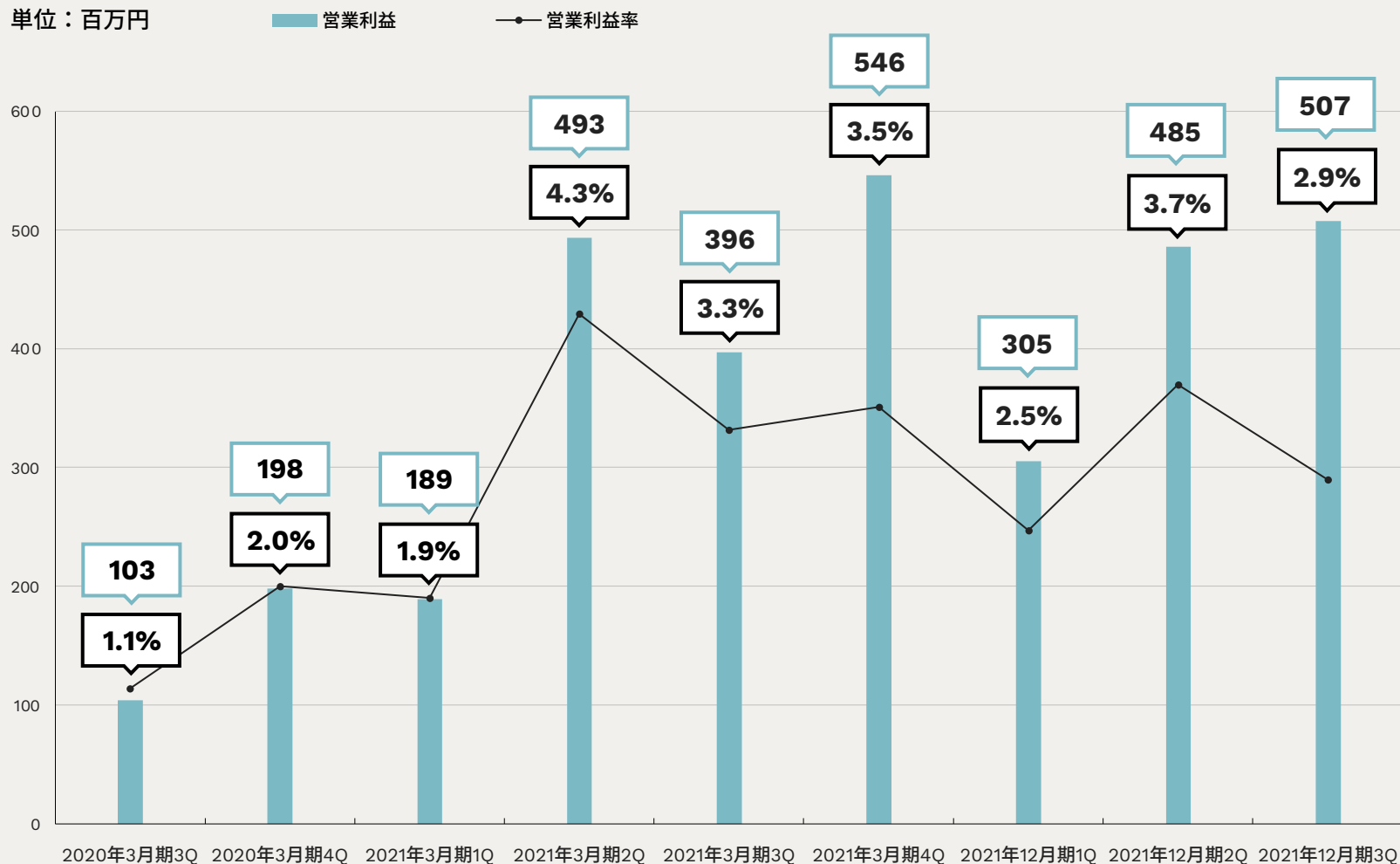


海外子会社  
6ヶ月間

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 連結営業利益 四半期推移

単位：百万円



海外子会社  
6ヶ月間

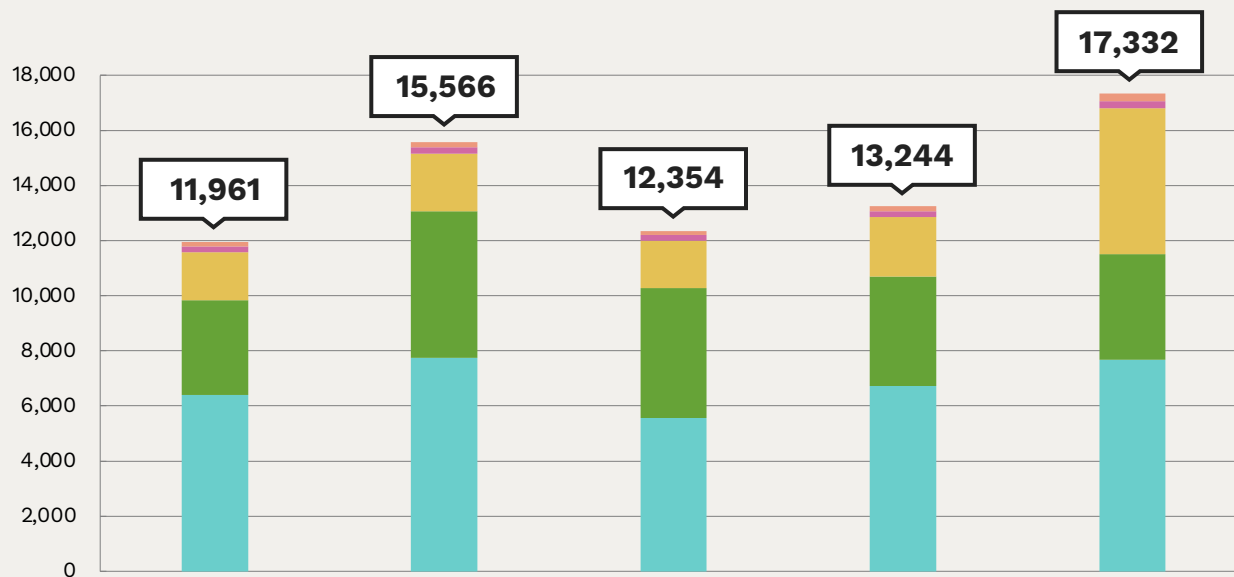
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

# 連結貸借対照表（前四半期比）

[ 単位：百万円 ]

	2021年12月期3Q	2021年12月期2Q	増減額	増減率
流動資産	21,762	17,822	+3,940	+22.1%
（現預金）	9,916	9,028	+887	+9.8%
固定資産	3,511	3,393	+118	+3.5%
総資産合計	25,274	21,215	+4,058	+19.1%
流動負債	10,171	9,364	+806	+8.6%
固定負債	165	217	▲52	▲24.1%
負債合計	10,336	9,582	+753	+7.9%
純資産合計	14,937	11,633	+3,304	+28.4%

# セグメント内識別連結取扱高構成比 四半期推移



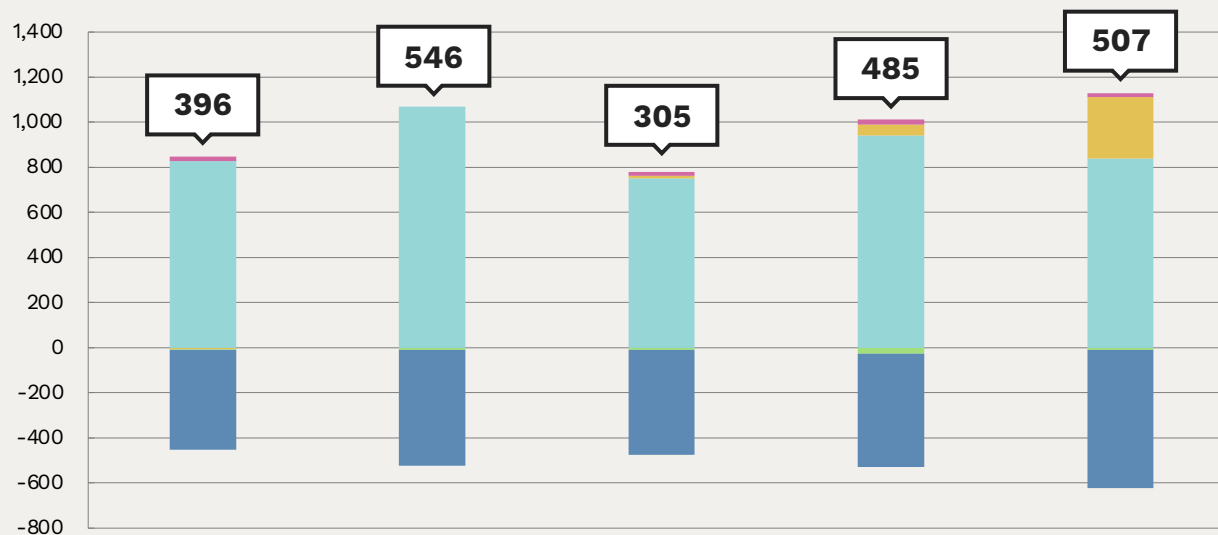
海外子会社  
6ヶ月間

単位：百万円

	2021年					前四半期比	
	3月期3Q	3月期4Q	12月期1Q	12月期2Q	12月期3Q	増減額	増減率
スマートフォン	6,408	7,756	5,577	6,740	7,691	+950	+14.1%
インターネット	3,429	5,312	4,711	3,962	3,819	▲142	▲3.6%
海外	1,744	2,097	1,710	2,154	5,284	-	-
メディアコンテンツ	202	216	198	219	252	+33	+15.1%
その他	176	183	156	167	283	+116	+69.9%
合計	11,961	15,566	12,354	13,244	17,332	-	-

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い海外子会社の会計期間が6ヶ月間となりますので、「海外」及び「合計」の前四半期との増減額、増減率は記載していません。

# セグメント内識別連結営業利益構成比 四半期推移



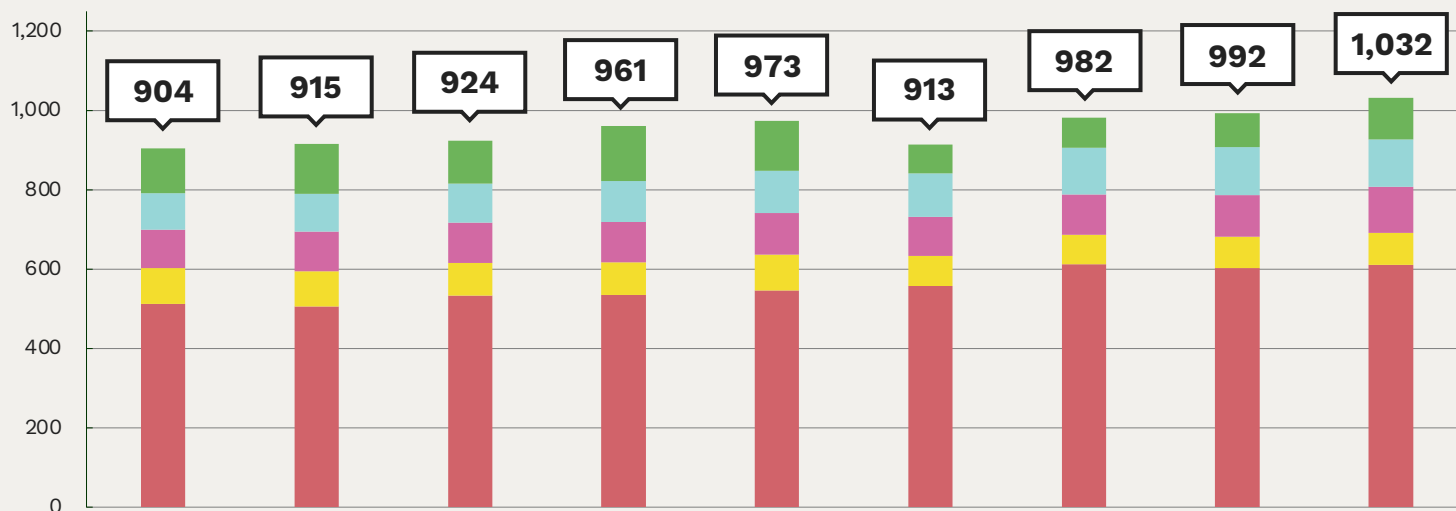
単位：百万円

	海外子会社 6ヶ月間					前四半期比	
	2021年3月期3Q	2021年3月期4Q	2021年12月期1Q	2021年12月期2Q	2021年12月期3Q	増減額	増減率
広告	828	1,068	752	942	839	▲103	▲11.0%
海外	▲5	0	11	49	274	-	-
メディアコンテンツ	20	0	17	21	17	▲3	▲18.8%
その他	▲4	▲9	▲10	▲25	▲9	+15	-
消去又は全社	▲442	▲512	▲465	▲502	▲613	▲111	-
合計	396	546	305	485	507	-	-

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い海外子会社の会計期間が6ヶ月間となりますので、「海外」及び「合計」の前四半期との増減額、増減率は記載しておりません。

※「その他」「消去又は全社」の前四半期比の増減率は営業損失のため表記しておりません。

# 当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名

	2020年 3月期3Q	2020年 3月期4Q	2021年 3月期1Q	2021年 3月期2Q	2021年 3月期3Q	2021年 3月期4Q	2021年 12月期1Q	2021年 12月期2Q	2021年 12月期3Q
日本アドウェイズ	512	506	533	535	546	558	613	602	611
中国アドウェイズ	91	88	82	83	90	75	74	79	80
国内子会社	96	100	102	100	105	99	101	106	117
海外子会社（中国以外）	92	96	98	104	107	110	117	120	119
派遣／アルバイト等	113	125	109	139	125	71	77	85	105
合計	904	915	924	961	973	913	982	992	1,032



# 会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット関連事業

代表者氏名 山田 翔

資本金 1,716百万円 [ 2021年12月末日現在 ]

取扱高 42,930百万円（国内会社9ヶ月間） [ 2021年12月期連結 ]

従業員数 1,032名（グループ全体） [ 2021年12月末日現在 ]

※臨時雇用者含む